

米 国 州 知 事 訪 日 視 察 記 録

自 昭 和 37 年 4 月 5 日

至 昭 和 37 年 4 月 19 日

全 国 知 事 会

米 国 知 事 訪 日 視 察 記 録

1962 年 4 月

第 一 目 次

1. ケネディ大統領より池田総理大臣への書簡
2. 池田総理大臣よりケネディ大統領への返書
3. ラスク国務長官より小坂外相への書簡
4. 小坂外相よりラスク国務長官への返書

第 二 目 次

1. 4月5日～19日視察記録…………… 1
2. 4月5日新聞記者会見…………… 39
3. 4月5日東京都庁訪問状況…………… 44
4. 4月7日千葉県知事の県政説明…………… 45
5. 4月8日栃木県知事の県政説明…………… 62ノ1
6. 4月9日神奈川県知事の県政説明…………… 65
7. 4月9日神奈川県農業試験場農業関係説明…………… 53
8. 4月9日神奈川県園芸試験場園芸関係説明…………… 61
9. 4月11日愛知県知事の県政説明及び
 歓迎晩さん会あいさつ…………… 66
10. 4月12日愛知用水公団の説明…………… 66ノ7
11. 4月12日京都府副知事の府政説明…………… 67

12.	4月14日宗教座談会	71
13.	4月15日奈良県知事県政説明	79
14.	4月16日大阪府知事府政説明及び 歓迎昼食会あいさつ	80ノ1
15.	4月17日兵庫県知事県政説明	81
16.	4月17日広島県知事代理県政説明	83
17.	4月17日新聞記者会見	87
18.	4月19日新聞記者会見	93
19.	4月19日日本協会主催昼食会における 小松副会長あいさつ	99
20.	4月19日日米協会主催昼食会における ソーヤー知事あいさつ「日本印象記」	103

ケネディ大統領より池田総理大臣への書簡

4月5日ソーヤー知事より池田総理へ渡された

親愛なる総理大臣 殿

私は、ネバタ州のグランド・ソーヤー知事に対し、アメリカ全国知事会代表による、日本訪問の機会に、私自身の御挨拶のメッセージを、貴下にお渡しするよう依頼致しました。

米国の州知事と日本の府県知事とは、その行動においてわれわれ両国の国民の日常生活に直接関係するところの多い公人であります。したがって、日本と米国の知事が共通の諸問題について互いに討議する措置をとられたことは、非常に有意義なことであると思われれます。われわれ両国間の密接で友好的な協力関係が発展し続けるにつれ、直接の観察のみならず、経験と知識との交流の機会がますます多く与えられることが重要であります。

私は、5月に米国を訪問される日本知事各位と会見することを待望しております。私は、貴下及び日本の全国民に対し、私の暖い挨拶と最善を願う気持ちを差しのべたいと思います。

誠実なる

ジョン・F・ケネディ

池田勇人閣下

日本国内閣総理大臣

1962. 5. 7

親愛なる大統領 殿

私は、去る四月こちらで行われた知事会議のため、我が国を訪れたネバダ州知事グラント・ソーヤー氏にとって、私に伝達された、貴下の親書に対して、深く感謝致して居ります。

東京での知事会議が、地方政府の立場に於て、個人的接触と隔意なき意見の交換を行うための定期的通路を、我々両国の間に達成した事は我々両国にとって最も満足すべき事であります。此の会議は、日米国民の間の友情と協力の歴史に顕著な一頁を加えるものと信じます。

私は神奈川県知事内山岩太郎君に此の親書を托して、貴下及び米国民に対して、最も温い御挨拶をお送り致します。

誠実なるあなたのもの

池田 勇人

日本国内閣総理大臣

ジヨン・エフ・ケネディ閣下

アメリカ合衆国大統領

ラスク 國務長官より小坂外相への書簡
4月6日ローレンス知事より小坂外相に伝達された

1962年3月31日

親愛なる大臣 殿

私は、日本を訪れる米国州知事一行の代表たる、ペンシルバニア州ダビッド・エル・ローレンス知事に、貴下及び日本国民に対して、私の挨拶の書簡を伝えるよう依頼しました。

この訪問は、次いで行われる日本県知事の訪問と共に、我々両国民の間に於ける認識と理解の一層広い普及を実現するであろうという私の見解に貴下が同意見であることと確信致します。

日本の県知事と米国の州知事とは、我々両国を結ぶ紐帯を、彼等の管轄の分野に於て彼等の奉仕する人々にとって、一層有意義で個人的なものにするために、沢山のことを為すことが出来ます。

私は、日本全国知事会と米国知事会議とが、この相互訪問を発展せしむることに手をつけられたことは最高の賞讃に値すると強く信じます。

貴下に対して、そして日本国民に対して、私は心から御多幸を祈ることをつけ加えさせて戴きます。

真実なる貴下のもの

デイーン ラスク

東 京

外務大臣

小 坂 善太郎 閣下

(小坂外相よりラスク国务長官への返書)

1962年4月11日

親愛なる大臣殿

私は、4月6日ペンシルバニア州ローレンス知事より私に伝達された、貴下の思慮に満ちた御書簡を喜ばしく拝読致しましたことを表明致します。

私は米国の知事諸氏にまみえて、個人的に話を交わす機会を得たことは非常にうれしいことでありました。

私は、貴下が書簡に述べられた通り、米日の知事諸氏の相互訪問は、我々両国民の間に、認識と理解のより広い普及を促進するであろうということに全く同意見であります。

米国及び日本の幹部諸氏の相互訪問が、国家段階でのみならず州又は県の段階に於て行われることは実に重要なことであります。此の種の交流によつて、我々両国民は、相互によりよく知り合い、彼等の直面する一般的諸問題を相互に理解し合うことになると私は信じます。

私は、米国知事会議と日本全国知事会との共同の努力がこの相互訪問の結果として豊富な成功の実を結ぶ事を真実より希望するものであります。御多幸を祈りつつ

真実なるあなたのもの

外務大臣 小坂善太郎

ワシントン

国务長官

デインラスク閣下

2. 30	帝国ホテル着	休憩
14. 30		新聞記者会見（於帝国ホテル）概要別紙
15. 30		
15. 40	同所発	
16. 00	都庁着	御子柴総務局長等玄関に出迎え、貴賓室において都政其他につき歓談された。
16. 45	同所発	
17. 00	自治省着	安井自治大臣、小林次官、柴田官房長、其他幹部がこれを迎えた。自治大臣より歓迎の挨拶の後ローレンス知事より、訪日知事を代表して挨拶があり、訪日知事の署名入りスクロールを記念として大臣に贈った。これより歓談約10分間。その際アメリカ知事側から自治省の組織について質問があり、自治省側から、省内各部局（官房、行政局、選挙局、財政局、税務局）、外局としての消防庁の組織及び参与制度等について説明があり、又市町村消防の概況について説明があつた。更にアメリカ知事側から、日本地方公共団体の税について質問があり、自治省側から、現行制度はシャウブ勧告に基いて、アメリカの税制の影響を受けつつわが国情に即して構成され、道府県税の主なものとしては事業税、道府県民税等があり、市町村税の

		<p>主なものとしては、固定資産税、市町村民税等があることの説明があり、また地方税に関連して、地方交付税（すべての地方公共団体に対し、それぞれの財政需要に即して必要な財源を付与するため、国が国税－所得税、法人税、酒税－として徴収した租税収入の一定割合の部分を地方公共団体ごとにその財政需要と財政収入の状況を勘案し、財源の不足する額に応じて交付される）の制度について説明があつた。</p>
17. 20	同所発	
17. 30		<p>池田総理招待の晩餐会（於 総理官邸）</p> <p>池田総理、小坂外務大臣、大平官房長官等出席。</p> <p>日本知事会よりは、東知事外 28 名の知事及び宮内事務局長が出席した。</p> <p>池田総理の挨拶、ローレンス知事の挨拶の後ケネデイ大統領より池田総理宛の親書をソーヤー知事より朗読手交し、ついで訪日知事の署名入りスクロールが贈呈され、池田総理より謝辞があつた。</p> <p>引き続き会食に入つたが、和気あいあいとして盛会であつた。</p>
19. 30	同所発	
19. 40	帝国ホテル着	

4月6日（金）東京

8. 10	帝国ホテル発	} 日米知事会議（於 都道府県会館）。 } 記録は別途編集の通一資料1。
8. 40	都道府県会館	
11. 30	着	
11. 40	同所発	
11. 45	駐日米国大使	ライシャワー大使に挨拶。
12. 30		} 昼食（於 大使官邸） } 日本側より東会長、内山副会長及び宮内事務局長
14. 30		
14. 50		} 此の間に皇居に参内した。東会長及び宮内事務局 } 長が案内した。訪日州知事全員及び州知事会事務 } 局長、計八名が天皇の謁見をたまわった。
18. 30	帝国ホテル発	
19. 00	築地着	外務大臣及び自治大臣招待の晩餐会（於 築地新 喜楽一 純日本式料亭）。 日本側出席者 小坂外務大臣、武内次官其他外務省幹部。 安井自治大臣、小林次官、柴田官房長その他自治 省幹部。 東会長、内山及び安孫子副会長及び宮内事務局長。 外務大臣より歓迎の挨拶があつて宴に入った。日 本舞踊等披露され盛会裡に終つた。
22. 00	帝国ホテル着	

4月7日（土）東京及び千葉

1. 10	羽田着	サウスダコタのガプラット知事が、ノースウエストで到着された。池田佐賀県知事及び知事会事務局渉外部長等が飛行場に出迎えた。ガプラット知事は、これより一行に加わった。
8. 30	帝国ホテル発	この間、A、B、C、の三班に別れて、東京都及び千葉県を視察した。
17. 00	同 着	
17. 30	帝国ホテル発	
18. 00	上野着	東東京都知事招待晩餐会（於 上野精養軒）
20. 00		都側出席者 東知事、鈴木、太田、太田の三副知事 御子柴総務局長、その他都幹部。 日本舞踊の紹介等があり、歓談裡に盛会であった。

班別視察記録

A 班 ローレンス }
 ソーヤー } 知事
 ガブラット

 マーフィー 知事会事務局

8. 30	帝国ホテル発	
8. 45	八重洲口着	八重洲地下駐車場巡視。 説明案内者—都建設局道路管理部長加部氏。
9. 15	同所発	
9. 45	警視庁着	原警視総監等幹部職員玄関に出迎える。原総監の案内により、担当官の説明を聞きつつ巡視した。
10. 15	同所発	
10. 50	消防庁着	江藤警視総監等幹部職員玄関に出迎える。江藤総監の案内により、担当官の説明を聞きつつ巡視した。
12. 10	東京会館着	昼 食 休憩—此の間後樂園球場にて日本のプロ野球観覧。
15. 50	国立競技場着	寺中競技場理事長等出迎える。寺中氏の案内により巡覧した。説明は北沢理事がこれに当った。
16. 05	同所発	
16. 10	東京体育館着	児島館長等幹部職員出迎える。 児島館長の案内により巡覧した
17. 00	帝国ホテル着	

15. 20	同所発	巡覧した。
15. 45	日本橋着	三越百貨店に行き、山口奉仕部長の案内で店内を見物した。
16. 45	同所発	
17. 00	帝国ホテル着	

C 班 ブライアント }
 アンダーソン } 知 事
 バ ロ ン }

クリフイールド 事務局 長

8. 30	帝国ホテル発	
10. 10	千葉県庁着	柴田知事、宮沢副知事、其他県幹部及び職員が出 迎え貴賓室に案内された。挨拶の後訪日州知事の 署名入りスクロールが柴田知事に贈呈された。そ れより柴田知事が財政の概要を説明した。一資料 別紙
10. 30	同所発	柴田知事は案内として同行した。
10. 45	千葉港着	
10. 50	同所発	京葉丸（汽船）に乗り換えた。
11. 00	三井ドック着	三井造船株式会社大前専務其他幹部職員玄関に出 迎えた。専務及び担当職員の説明を聞きつつ巡覧 した。
11. 30	同所発	
11. 50	辰巳団地着	柴田知事の案内により、この団地を巡覧し、日本 の住宅建設の状況を視察した。
12. 00	同所発	
12. 20	東京電力着	東京電力千葉火力発電所を訪問。屋上より展望し 千葉県知事が説明した。
13. 05	知事公舎着	昼食会一千葉県知事招待。日本音楽三曲合奏が披 露された。
14. 45	同所発	
17. 00	帝国ホテル着	

4月8日（日）東京及び栃木

希望者のみ栃木県及び日光を訪れる計画に従って、下記の人々が栃木行きに参加した。（これに参加しなかった人は自由行動）

参加者

ローレンス	}	知事
カーベル		
アンダーソン		
バロン		
ドブレンチャク		国務省
クリフィールド	}	事務局
マーフィー		
シルベスター		米国大使館

8.00	帝国ホテル発	
8.30	浅草駅着	東武鉄道株式会社に於ては、浅草駅に日米両国旗を掲げて歓迎し、駅長の出迎え案内により貴賓室に入り、少憩の後乗車したが、特別車輛の席を提供された。
8.40	同駅発	
10.35	東武日光駅着	横川栃木県知事及び日光市長等が駅に出迎えた。駅及び各街路、民家に至るまで米国知事歓迎の看板を掲げて歓迎の意を表わした。バスにて東照宮に向う。
10.55	東照宮前着	横川知事の案内により、東照宮に表敬、東照宮の官司其他関係者が説明に当った。

11. 45	同所発	
11. 55	金谷ホテル着	横川知事招待昼食会 昼食会に入る前に相互の挨拶が行われ、知事より 県勢の大綱を説明し、米国側知事よりは訪日知事 全員の署名入りスクロールが横川知事に贈呈され た。 昼食会に入つては日光市長其他県の幹部も列席し、 日光古代舞も披露された。
13. 10	同所発	
13. 50	中禅寺湖着	遊覧船男体丸に乗り換え湖上巡遊して立木観音（ 中禅寺）に表敬、住職が中禅寺の由来等説明に当 つた。
14. 40	上 陸	バスに乗り換えて華厳の滝に行き一帯の景色を楽 しみ再びバスに乗って駅に向つた。
16. 00	東武日光駅着	
16. 12	同所発	横川知事其他関係幹部は駅頭で見送つた。
18. 13	浅草着	
18. 50	帝国ホテル着	
19. 20		全国知事会招待晚餐会（於 帝国ホテル） 米側全員の外米国外使館のシルベスター氏も列席し た。 日本側出席者 知事——東（東京）安孫子（山形）神田（群馬） 柴田（千葉）内山（神奈川）西沢（長野） 左藤（大阪）奥田（奈良）三木（岡山） 田部（島根）橋本（山口）金子（香川）

<p>20. 30</p> <p>21. 30</p> <p>21. 40</p>	<p>帝国ホテル着</p>	<p>原（徳島）久松（愛媛）池田（佐賀）</p> <p>寺本（熊本）</p> <p>及び知事会宮内事務局長其他幹部が出席した。</p> <p>この席に於てローレンス知事より、宮内事務局長に、その労を謝して、訪日知事全員の署名入りスクロールが贈呈された。</p> <p>} 歌舞伎座見物 _____ 東京都知事招待</p>
---	---------------	--

4月9日（月）神奈川

<p>8. 10</p>	<p>帝国ホテル発</p>	<p>予定時刻に出発、一行下記の通り</p> <p>1. 米国側 訪日知事一行 11名</p> <p style="text-align: right;">} 計 12名</p> <p style="text-align: center;">米国大使館シルベスター氏</p> <p>新聞 エー・ピー・1名 ユー・ピー・アイ1名</p> <p>2. 日本側随行者</p> <p style="text-align: right;">} 計 6名</p> <p style="text-align: center;">知事会事務局長 宮内氏</p> <p style="text-align: center;">同職員 4名</p> <p style="text-align: center;">通訳1名 (桜井氏)</p> <p>3. 日本側参加者</p> <p style="text-align: center;">外務省北米課 平川事務官</p> <p style="text-align: center;">自治省官房 吉瀬調査官</p> <p>其他交通公社より 1名 (阿部氏)</p> <p style="text-align: center;">総計 23名</p> <p>尚日本に於ける全行程にすべて、所轄警察のジープ或は二輪車が一行の乗物を誘導及び護衛したことも、こゝに書き加えておく（勿論汽車の場合を除く）。</p>
<p>9. 25</p>	<p>県庁着</p>	<p>内山知事を始めとして、県議会議長、津田副知事 其他県幹部、及び横浜市長、助役、商工会議所会 頭等が正面玄関で出迎えた。県庁職員は日米の国 旗を持つて門より玄関まで並んで迎えた。 貴賓室に案内され、双方より挨拶が行われ、ロー レンス知事より訪日知事全員の署名入りスクロー ルが内山知事に贈られた。 内山知事より県議会議長、横浜市長、其他県幹部</p>

10. 30	県庁発	が紹介され、それより内山知事の県政説明があり、質疑応答があつた。 出発後内山知事は終始案内役としてバスに同乗した。
11. 00		鎌倉視察。途中鎌倉市長に迎えられた。建長寺、 八幡宮、大仏殿にて夫々其の社寺の司長より説明を聞き表敬した。
12. 15		
12. 30	江の島着	知事招待昼食会（於 江ノ島観光ホテル） 地元側出席者は内山知事、其他県幹部及び藤沢市長等であつた。
14. 00	同所発	
14. 35	平塚市着	農家齋藤氏宅の前に到着した。平塚市長及び県農事試験場長等に出迎えられた。途中小学生等が道路に並んで、日米の国旗を手に振りつつ歓迎の意を表したことは感銘を与えたようであつた。齋藤氏宅にては、日本の農家の生活様式や経営状況をつぶさに見学した。
14. 45	同所発	
15. 00	農事試験場着	今村場長其他幹部は、門の入口で出迎え、職員は日米の国旗を持って迎えた。同試験場経営研究部長神戸氏より神奈川県農業について説明があつた。（要旨別紙） 場長の案内によつて場内を巡視した。
15. 50	同所発	
16. 10	園芸試験場着	藤田場長その他幹部は入口で出迎え、職員は日米の国旗を持って歓迎した。前記神戸氏より神奈川に

		<p>於ける園芸の状況について説明があつた。(説明要旨別紙)</p> <p>此の際、藤田場長が先般訪米の時、フロリダの試験場より分与されて持ち帰つたグレイブフルーツの種子を、この試験場にて試作したが失敗し、伊豆半島方面に持つて行つて試作したところ、見事成功結実したことを報告し、そのグレイブフルーツをフロリダ州知事ブライアント氏に贈呈した。</p> <p>それより場長の案内により場内を巡視した。</p>
16. 50	同所発	
17. 10	小田原着	<p>県立工芸指導所に到着した。</p> <p>宮の原所長其他職員一同及び小田原市長等門前に出迎えた。所長の案内により所内を巡視した。</p>
17. 40	同所発	
18. 20	箱根着	<p>箱根観光ホテルに入った。</p> <p>内山知事主催の晩餐会。</p> <p>日本側出席知事は下記の通り。</p> <p>小畑(秋田) 安孫子(山形) 三浦(宮城)</p> <p>柴田(千葉) 天野(山梨) 西沢(長野)</p> <p>桑原(愛知) 小野(和歌山) 三木(岡山)</p> <p>金子(香川) 久松(愛媛) 池田(佐賀)</p> <p>黒木(宮崎)</p> <p>其他全国知事会事務局長宮内氏、外その幹部、神奈川県庁幹部等も出席した。</p>
19. 00		
20. 30		

4 月 10 日（火）神奈川

10. 00		} 日米知事会議（於箱根観光ホテル）。 } 記録は別に編集した—資料 1.
10. 30		
12. 00		カーベル知事は、一行に別れて自動車で東京に出 発した。本夕 22 時羽田発ノースウエストにて 帰米の為である。
12. 00	ホテル発	バ ス
12. 10	龍宮殿着	昼食会。内山知事外数名の日本知事も加わった。 本日は風雨強く芦の湖遊覧の予定を取り消した。 一行は昼食後神奈川県映画等を見て、それより 土産物店の見物等を行つた。ローレンス知事は箱 根観光ホテルに引き返して、バスレームの姉妹都 市である御殿場市の市長、議長、教育長等に会つ た。
17. 00	ホテル着	
18. 00	内山知事招待	すき焼き会（於環翠）

4月11日（水）愛知

9. 00	箱根観光ホテル 発	内山知事はバスに同乗して県境まで見送った。
10. 20	沼津駅着	
10. 32	同所発	特急第一つばめ（東京→大阪） 展望車にて快適であった。
13. 11	名古屋駅着	
13. 30	県庁着	桑原知事其他県幹部及び職員が玄関前にて出迎えた。 貴賓室に案内された。桑原知事の歓迎挨拶、米国知事挨拶の後訪日知事全員の署名入りスクロールが桑原知事に贈られた。それより知事の県政の説明があつた。
14. 45	同所発	桑原知事はバスに同乗して案内された。
15. 55	安城着	倉敷紡績安城工場視察。 倉紡三木社長其他幹部の人々は工場入口にて出迎えた。女子工員は整列して日米国旗を持つて歓迎した。講堂に案内されて少憩した。その間に三木社長より挨拶及び工場の説明があつた。工場内はそれぞれ担当職員の案内によつて巡視したが、特に寄宿舍及び女子工員の教養設備等に注意が向けられたようであつた。
17. 15	同所発	
18. 30	八勝館着	桑原知事主催晩餐会（於八勝館）地元側出席者（主な人のみ記す） 在名外国公館 名古屋、米国首席領事 ピー・エフ・ダー氏 領事 アール・エヌ・ベンソン氏

		<p>領事 アール・エヌ・ローエン氏 // ダヴリユー・シー・ウエスト氏 // エル・エヌ・ガバナー氏</p> <p>アメリカ文化センター館長ダヴリユー・イー・デイツ氏 名古屋市長 杉戸清氏 外助役 2名 名古屋高裁長官 近藤編二氏 // 地裁所長 吉村国作氏 // 家裁所長 羽田秀雄氏 愛知用水公団理事長 成田 努氏 名古屋商工会議所会頭 鈴木 亨氏 名古屋日米協会会長 水野智彦氏</p> <p>其他各商社代表者約 20 名</p> <p>桑原知事より歓迎の辞があり、ブライアント知事より返礼の挨拶—歓迎の盛大さに圧倒されて自分を見失いそうだがあつて宴に入った。日本式の料理が夫々の調理所を設けて、各人自由に調理場より物をとつて食事をした。日本式舞踊も紹介され盛会であつた。</p>
--	--	---

4月12日（木）愛知 京都

8. 30	宿所発	<p>愛知用水及び愛知池視察</p> <p>愛知用水公団理事長の説明によつて現地を見た。</p> <p>この用水は世界復興開発銀行よりの借款によつて施</p> <p>工された工事である点に於て、注目を引いた。</p>
9. 00		
10. 00	日本陶器着	<p>日本陶器株式会社会長佐伯氏外幹部が玄関に出迎えた。会長及び副社長渡辺氏の案内により工場を巡覧した。それを終えて各人は、皿に夫々文字又は画を書いて残した。この皿は焼いて後に夫々本人に贈られた。</p>
11. 00	同所発	
11. 05	名古屋駅着	
11. 16	同所発	<p>特急第二こだま（東京→大阪）展望車にて京都に向う。車中食事をした。</p>
12. 50	京都駅着	<p>西沢副知事等駅に出迎えた。</p> <p>京都府は昨日（11日）知事選挙が行われたのであつた。現知事蜷川氏も現職のまま立候補していた。米知事一行は開票の現物を見たい意向であつたが、本日正午までには既に全地域開票を終了していたので間に合わなかつた。開票の結果は現知事蜷川氏が十万票を引き離して当選している旨、駅頭に於て、米知事の問いに対して、西沢副知事より報告された。</p>
13. 15	京都国際ホテル着	
14. 15	同所発	
14. 20	府庁着	<p>西沢副知事より府政の問題点について説明が行われ</p>

15. 15	同所発	た。(説明要旨別紙)
15. 30	祇園着	} 祇園歌舞練場に於て都おどり観覧(京都府知事 } の招待)
17. 10		
17. 15	京都国際ホテル着	
18. 00		日本全国知事会招待晩餐会 この晩餐会のホストには宮内事務局長が当つた。 加茂川べりの玉屋で行われ、日本式接待であつた。

4月13日（金）京都

<p>8. 30 11. 35</p>	<p>京都国際ホテル</p>	<p>西沢副知事の案内によつて、全員バスにて、二条城、桂離宮、平安神宮を参観した。</p>
<p>12. 15</p>	<p>野村別邸着</p>	<p>京都府知事招待の昼食会 府側は西沢副知事、倉橋総務部長等が出席した。</p>
<p>14. 30 17. 00</p>		<p>日本の家庭を訪問した。 米国知事が訪問した先は次の通りであつた。 敬称を略す。 井上寿一郎 京都市伏見区桃山筑前台町 34 和田秀次郎 京都市北区平野上柳町 36 鈴村 真史 京都市左京区松ヶ崎御所ノ内町 松岡 繁 京都市右京区鳴滝泉谷町 18ノ1</p>
<p>18. 00</p>	<p>京都国際ホテル</p>	<p>自由行動</p>

4月14日（土）京都

9. 30		<p>一般に自由行動の予定であつた。</p> <p>有志のみ参加して、宗教座談会が京都国際ホテルに於て行われた。日本側は各宗派の代表的な人々が揃つた。その出席者及び談話の内容は別紙の通りである。</p>
12. 00		<p>宗教座談会参加者による合同昼食会。（於京都国際ホテル）</p>
13. 00	同ホテル発	
13. 15	清水着	<p>清水焼の老舗を訪問した。</p> <p>主人六兵衛（6代目）氏の説明を聞きながら、200年伝統を持つ日本陶器の窯元を見学した。</p>
14. 00	西陣着	<p>西陣織の老舗を訪問した。</p> <p>徳川時代よりの伝統に輝く手工業、西陣織の手織現物や製品を巡覧した。</p>
15. 00		<p>ブライアント知事は、一行より別れて帰米のため、大阪空港に向う。坂田渉外部長が大阪空港まで見送つた。同知事は本日22時、羽田発のノースウエスト機で帰米された。羽田空港では、日本知事会事務局佐藤次長等が見送つた。</p>
16. 00	京都国際ホテル	<p>同ホテル総支配人がホストとなつて、州知事一行をねぎらう晚餐会が、同ホテルのデラックスルームで行われた。</p>

4月 15日（日）奈良

8. 30	京都国際ホテル発	バスにて全員奈良に向う。
10. 00	奈良ホテル着	奈良県下位副知事、奈良市長等がホテルの玄関で迎えた。
10. 25	同所発	奈良公園飛火野鹿寄せを見物した。
10. 50	春日大社着	春日大社に表敬。
11. 15	同所発	大仏殿見学。
11. 20	東大寺着	整肢園（東大寺附属の施設で肢体不自由児を収容して治療及び教育を行つている）を訪問した。此の時バロン知事は、園児に野球帽（米国の大リーグで使つているもの）及び野球ボール（ミツキイマントル外大リーガー数名のサインが入つたもの）を贈呈して、園児を喜ばせたのは、感激的であつた。園児はハーモニカにて「ホーム・オン・ザ・レンジ」其他を吹奏して謝意を表した。
11. 50	奈良ホテル着	
12. 00		昼食（於 奈良ホテル）
13. 00	同所発	
13. 30	法隆寺着	法隆寺の建物及び宝物殿等を見学した。説明者は法隆寺管長佐伯良謙氏であつた。
14. 20	同所発	
16. 20	ドリームランド着	ドリームランドの設備で周遊した。こゝで働いているアメリカンデイアンの人々等は、米国州知事をなつかしんで、歓迎に大張り切りであつた。
17. 20	奈良ホテル着	カクテルパーティーに入る前に奥田知事より奈良県

		<p>の県政について特にその特徴について説明があつた。それより歓談に入つた。奥田知事が三期連続当選で、本年は知事になつて11年目であると話したが、米州知事は此のことに関心が深かつたようである。ローレンス知事などは自分の州では再選出来ないので来年は知事になれないなどと語つていた。又奈良県は観光の県である点に於てネバダに似ているなどとの話しも出て談笑が続けられた。</p> <p>カクテルパーティーについて晚餐会が行われた。奈良県側出席者は、奥田知事の外下位副知事、総務部長、県議会議長、奈良市長等であつた。</p>
--	--	---

4月 16日（月）大阪

8. 30	奈良ホテル発	バスにて大阪に向う。
9. 30	茨木着	松下電器茨木工場着。 松下電器会長松下幸之助氏等幹部が玄関に出迎えた。貴賓室に案内され、松下会長より工場の概要等説明の後、同会長の案内で工場を一巡した。
10. 30	同所発	
11. 00	府庁着	府の幹部諸氏が玄関に出迎え、一行を貴賓室に案内した。左藤知事との挨拶が交わされ、米側知事は訪日知事全員の署名入りスクロールを左藤知事に贈呈した。歓談に入り米国知事一行は左藤知事が前に国会議員で又防衛庁長管であつた事などに注目していた。それから隣室にて府の概況をスライドによつて説明された。
12. 00	つるや着	左藤知事招待昼食会
14. 00	同所発	バロン及びアンダーソンの2知事は、こゝで一行と別れて伊丹飛行場に向つた。 そして東京着後、東東京都知事の送別をうけて羽田に向い、22時発ノースウエスト機にて帰米した。知事会事務局高畑次長等が飛行場で見送つた。
14. 30	大阪港着	国際見本市港会場を視察した。一行は特に米国館に注目していた。
16. 30	同所発	
18. 20	西宮着	甲陽園の「播半」にて野外レセプションが催され、西宮市少女11名より花束及び贈物の贈呈がなさ

19. 00	同所発	<p>れた。</p> <p>歓迎のことばを金井副知事が述べた後、分宿予定の民家提供者が紹介され歓談が続けられた。</p> <p>それぞれ一人宛、ホストに案内されてその家に向つた。</p> <p>分宿先は次の通りである。(敬称略)</p> <table border="0"> <tr> <td>ローレンス</td> <td>内藤文次郎</td> <td>芦屋市東山町</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>ソーヤー</td> <td>八馬安二郎</td> <td>〃</td> <td>平田町 35</td> </tr> <tr> <td>ガブラツド</td> <td>広瀬勝代</td> <td>〃</td> <td>春日町 98</td> </tr> <tr> <td>マクニコルス</td> <td>村井 治</td> <td>〃</td> <td>三条町 247</td> </tr> <tr> <td>クリフイールド</td> <td>佐藤音松</td> <td>〃</td> <td>山手町 120</td> </tr> <tr> <td>ドブレンチャク</td> <td>山岡義郎</td> <td>〃</td> <td>公光町 28</td> </tr> <tr> <td>マーフィー</td> <td>難波文吉</td> <td>〃</td> <td>岡田町 65</td> </tr> </table>	ローレンス	内藤文次郎	芦屋市東山町	124	ソーヤー	八馬安二郎	〃	平田町 35	ガブラツド	広瀬勝代	〃	春日町 98	マクニコルス	村井 治	〃	三条町 247	クリフイールド	佐藤音松	〃	山手町 120	ドブレンチャク	山岡義郎	〃	公光町 28	マーフィー	難波文吉	〃	岡田町 65
ローレンス	内藤文次郎	芦屋市東山町	124																											
ソーヤー	八馬安二郎	〃	平田町 35																											
ガブラツド	広瀬勝代	〃	春日町 98																											
マクニコルス	村井 治	〃	三条町 247																											
クリフイールド	佐藤音松	〃	山手町 120																											
ドブレンチャク	山岡義郎	〃	公光町 28																											
マーフィー	難波文吉	〃	岡田町 65																											

千葉県知事県政説明

(於千葉県庁)

4月7日

知事各位並びに紳士諸君

日本における短い滞在期間中、本日わが県に対する視察旅行をなさることは非常な名誉であります。本日この県の御視察を通じて日本における現状及び基本的諸問題を理解して頂けるならば非常な幸せであります。この御視察は二国間の友好関係の推進に非常な貢献をするでしょう。

視察旅行をなさる前に、あなたがたに現在実施中の県の施策及び県政概要について簡単に御説明申し上げたいと存じます。

日本46都道府県の1つである本県は、日本の中央に位置し、太平洋に突出する房総半島を形成しております。人口は約230万で、面積は5千平方キロ、ハワイ島の約半分です。46都道府県の中で、千葉県は人口において11位、大きさにおいて28位です。それは東京都に近接しています。県庁の所在する千葉市は東京から自動車ですら約1時間で到達します。

地域的に言えば、県の北西部は東京都民に米、青果物及び海産物を供給してまいりました。しかし最近東京の衛星都市の住宅地域として開発されるに到り、又京葉工業地帯の一部(本日訪問する予定)として、内陸工業地帯として開発されるに至っています。東部では、利根川(日本で最長の河川のひとつ)の下流に沿って広大な肥沃な土地があります。銚子市は東の端に位し、日本の代表的な漁港のひとつであります。太平洋に沿って銚子

の南方にのびる地域は戦前いわしその他の漁場として有名でした。しかし現在ではいわしの漁獲高は減少に向っています。そしてこの県は関係漁民の生活の安定について心配しています。しかし幸運にも天然ガス及び砂鉄の豊富な資源がこれらの地域で発見され、この豊富な天然ガスの利用によつて化学工業が興りつつあります。

県の南部においては丘陵がひろがっています。それらの丘はそれほど高くありません。最も高いものでも海拔 400メートルにすぎません。丘の南側は太平洋に面しており、太平洋の黒潮により暖められております。この辺りは一年を通じて非常に温暖でありますので、各種の果物や花が栽培されます。海岸は多くの風光明媚な場所を含み、多数の観光客が訪問します。

本県は首都に近く、農業及び漁業の資源にめぐまれています。そして又東京の台所と呼ばれております。したがつて、産業別従業者の配分比率については、第一次産業は 47%を占め、全国平均 33%より多くなつております。

われわれの国では第一次産業従事者の所得水準は他の産業従事者のそれに比べ低くなつております。したがつて、所得水準を引上げるために、本県は各種の他産業開発に努めてまいりました。しかし、その水準はなお全国平均よりやや低くなつております。

したがつて、本県は、県民の生活水準を引上げるために、生産性の高い産業を導入し、県の産業構造を高度化せしめました。他方、本県又は、農業及び水産業、並びに第二次、第三次産業

の中小企業における生産性を高める努力をして参りました。これらは、この県が解決しなければならない最も重要な経済問題であります。

高生産性の産業を導入しはじめてからすでに10年になります。すなわち、われわれは重化学工業を中心とする工場の使用のために、東京湾に土地の埋立をはじめました。この地域は大消費都市たる東京に極めて近接しております。加うるに、東京湾は岸辺から遠い所まで非常に浅くなっております。同湾の水は大洋の海流によつてさほど影響されません。したがつて、土地埋立のために用いる砂の浚渫が極めて容易であります。同時に大型船舶の使用に供される港湾の建設も極めて容易であります。かくてわれわれは、工業的目的のために経済的に、意図的に土地を埋立てることができます。

国家的見地から、日本の工業は、東京横浜、大阪神戸、名古屋及び北九州の四大工業地帯に集中しておりました。この偏向した工業立地は、日本経済の調和ある発展に対し好ましからぬ影響を与えます。したがつて国は、現在工業の適正配置のためこれを分散せしめる努力を続けております。

上述のすぐれた立地条件を利用して、本県は東京湾に沿つて1万1,000ヘクタール(4,700エーカー)内陸部に3,000ヘクタール(1,400エーカー)合計1万5,000ヘクタール(6,100エーカー)の土地を埋立て、県の産業構造を再編成し、1975年までの15年間における日本経済の発展に貢献せんとしております。

これらの埋立地に、生産性の高い新式の機械を備えた重化学工業を導入することに努力しております。われわれは道路、港湾、家屋その他生活に必要な施設を建設して、この地帯が優れた理想的なタウンとなることを期しています。この地帯は非常に広大であり、日本の全工業用地の約 20% を占めます。詳細については、すでにあなた方にお渡しした小冊子に示してあり、後程現場までお連れして再び御説明申し上げます。

この計画は部分的には実現しております。埋立地に建設された工場のいくつかはすでに操業しています。その結果、1960 年の工業生産は 1955 年のその約 3 倍に増えました。

このことは、本県が工業県として活潑に動いていること、又本県が農業、漁業の県から工業県へと転換を始めたことを示すものです。上述の計画完成後は、本県は日本における代表的な工業県のひとつになるでしょう。

さて私は、前に簡単に言及した第 1 次、第 2 次第 3 次産業における中小企業の振興について申し述べたいと存じます。

第 1 次産業の中核である農業については、日本農業は全般的にみて行詰りに来たと言われております。他の言葉でいえば、日本の農業は極めて小さい企模で経営されており、その低生産性の故に農民の所得は非常に低いのであります。そして農業者と他の産業労働者との所得格差はますますひろがりつつあります。しだがつて、農民が農業の範囲を拡大し、農業の生産性を高めることは極めて重要であります。農業生産物に対する需要という見地から、肉、牛乳、卵、果物等のたん白、ビタミンに富む

農産物に対する需要は、労働者の所得が将来急速に上昇するにつれて増大するであります。これに対し、米、小麦、大麦等の農産物に対する需要は減少すると思われれます。その結果、米を主産物とする日本農業は改革されねばなりません。この事態に対処するため、農産物の構成が現在改善されつつあります。同時に、本県は農民に対し、農業近代化に必要な、資金供給、あるいは利子補給により、財政的援助を与えています。そして農業生産の基礎を強化するため、農地改良事業を推進しつつあります。加うるに、本県は野菜類及び花卉類の栽培を奨励して、それらを本県の特産物たらしめようとしています。このように、国の政策に一致協力して、本県は農業構造を改善し、県の立地条件を充足させようとしています。

すべての零細な農民をなくすことは容易ではありませんが、県は、将来一戸当り農地面積1ヘクタール（2.4エーカー）を3倍ないし4倍にしようとしております。すなわち、県は国と協力して、農民に対し、農業経営拡大のための資金を供給しております。

第二次、第三次産業における中小企業は日本経済において重要な役割を果たしております。しかしそれらは、大企業に比べると近代化においてはるかに遅れています。それらの生産性は非常に低い。したがって、県は、国と協力して、中小企業者に資金を供給して、機械設備を近代化せしめつつあります。県は独自に、労働問題に対処するため、働く青年のために寄宿舎を建設し、中小企業労働者のための福利施設資金を供給する等の諸

施策を行なっております。

さて私は、社会保障について述べたいと思います。社会保障制度は終戦以来日本で重要な役割を果たしつつあります。それは地方公共団体及び国によつて行なわれています。本県においては、被保護者の数は年々減少しつつあります。現在約 2 万 7 千人おり、これは千人につき 12 人に当ります。これらの人びとは貧困と病気の循環に苦しんでいます。救済資金の大きな部分が医療に回されています。彼らに対し同様の医療を施すことは緊急な仕事であります。更に、県は、人びとが生活保護者に転落せぬよう、各種社会保障を普及させるとともにボーダーライン層の人びとに生活救済資金として貸付を行なっております。

公衆衛生に関しては、公衆衛生推進のため 17 の保健所が設けられております。がん及び卒中（近年死亡原因のトップを占めている。）の早期発見のため、患者は無料で検査を受けています。3 つの県立病院があり、400 ベッドを備えています。

さて、教育問題につき説明致しましょう。日本の教育制度は 6 年間の小学校、3 年間の中学校、3 年間の高等学校及び 4 年間の大学から成っております。そして小中学校は義務制であり、それらの学校は市町村の経営になっております。小、中学校の教員に対する人件費は国及び県が半分ずつ負担しております。本県においては 502 の小学校があり、29 万 5 千人の児童があり、303 の中学と 17 万 5 千人の中学生があります。就学率はほとんど 100% です。中学校を終了した生徒の約 50% は高等学校に入学します。しかし本県では、将来全員に高校教

育を施すことを考えています。本県には 52 の県立高校、5 の市立高校及び 25 の私立高校があり、計 82 校であります。生徒数については、県立高校が全体の 70%、6 万 3 千であります。

次に本県における住宅問題について述べます。本県は東京への通勤者にとって極めて良好な住宅地を持っています。そして人口は工業の発展のため増加しつつあります。かくて、人びとは、住宅が急速に建てられて行くに拘らず依然住宅不足に悩んでいます。とくに、土地を得ることが困難であります。

その結果、人びとは自分の家をどんな土地にもでたらめに建てるので、無秩序な住宅地域が形成され、水道、下水施設、道路、学校等の公共施設の建設がなされません。このことは都市計画の実施をさまたげます。これが対策として、県及び市は毎年公営住宅を建設しております。その外、県は、県の費用で、「千葉県住宅協会」（財団法人）を設立して積極的に、又弾力的に住宅対策をおしすすめようとしております。同協会はすでに 1.100 ヘクタール（6.400 エーカー）の土地を開発し、

3.000 戸の建売住宅を建てました。更に同協会は、150 ヘクタール（360 エーカー）の土地を再整理して、京葉臨海工業地帯における工場労働者のための宿所の建設を目指しています。同協会は、工業開発の進展とともに、同種の住居地帯の建設を更に進める考えです。

さて、すでに述べた諸施策の実施に関する義務を遂行している県の行政組織について申し述べます。

県の職員数は4,500です。6つの部（総務部、民生部、商工労働部、農林水産部、土木部、及び開発部）があり、その下に53の課があります。その外、財務事務所、保健所、福祉事務所等があります。知事の下に置かれた上述の機関の外に、教育庁及び警察本部があります。

県の財政状況については、一般会計予算が約266億6,200万円となっております。才入については、24%県税より、22%は地方譲与税、そして32%は国庫より、となっております。歳出については、38%は教育費に、19%は公共事業費に、9%は産業経済費に用いられています。教育費が首位に来る理由は、義務教育たる小中学の1万4,000人の教員の給与が県の予算から支払われることとあります。一般的に言つて、県の予算は毎年増加しております。とくに、県税収入、及び公共事業費は工業開発の進展に伴つて急激に上昇しております。すなわち、これは法人税及び事業税を含む県税の増大によるものであり、他方、産業施設の整備に支払われる事業費の増大によるものであります。

これまで述べて参りました通り、県の行政は種々の分野に及んでおります。とくに、県は、県の性格を改革すべき転期に立っているために、多くの困難な問題を解決しなければなりません。しかし豊富な資源に支えられて、県は、県民の生活水準向上のため、それらの困難な問題の解決のため、非常な努力を払つております。

最後に、私の長い話があなた方の本日の実地視察にお役に立つことを願つております。御静聴ありがとうございました。

神奈川県における農業及び試験の概要

(於 神奈川県立農業試験場)

4月9日

設立以来 65 年の歴史をもっている神奈川県農業試験場は、進んだ農業技術の研究と農民の抱える困難な諸問題解決を目的として、本県の 7 万 5.000 農家のために仕事をしている。

本試験場、園芸試験場、畜産試験場及び蚕業試験場の主要な任務は、大消費都市の近郊地帯を特色とする産業としての農業を発展せしめる方途を研究するとともに、地元農民の要望に応えるため、種々の研究や試験を行なうことである。

この試験場は農業、経済、家政学、機械化、農業生産物加工、及び普通作物（米、小麦、大麦、甘しよ、落花生等）の分野について種々の試験、研究に従事している。

これらの詳細については、「訪問者への案内」に記されている。今日午後訪問される園芸試験場はこの場所と箱根との中間に位置している。

畜産試験場及び蚕業試験場は本県の中央部に位している。

以上四つの試験場は神奈川県の管轄下にある。

畜産試験場の概要は次の通りである。この試験場の面積は 45 エーカーであり、約 50 頭の乳牛、18 頭の牡牛、豚、ひな鶏、羊及び山羊を飼っている。

18 頭の牡牛及び数頭の豚はほとんど米国から輸入されたものである。牡牛の精液が 2 万 5.000 頭の牡牛に供給され、又 600 頭の豚、4 万羽のひな鶏、幾頭かの子牛、子山羊、子羊

が適正価格で農民に供給される。

畜産試験場における主たる研究目的は、これらの家畜の労力を省いた飼養法、経済的飼養法、冷凍した精液を用いる人工受精（牛の場合）、豚及びひな鶏を経済的に肥らせる方法、肥料の処理方法等である。

さて、蚕業試験場は13エーカーの桑園を持っている。この試験場における主要な研究事項は、新しい品種の桑による飼養、病虫害及び疾患の制御、養蚕場の改善等である。

御存知の通り、生糸、及び絹製品（絹織物及び絹の衣服）はわが国における最大の輸出品であつた。蚕は暖い季節（5月から9月末日まで）に桑の葉で飼養される。桑畠一エーカー当りのまゆ生産量は、未加工の状態では290キログラムである。その価額はこの県で平均して440ドルである。しかしながら、農業における蚕業の地位は低くなりつつある。園芸、畜産あるいは化学繊維、合成繊維（ナイロンの如き）のためにその地位を脅かされている。

蚕業は通常老年男女あるいは子供の手で行なわれているので、その生産性は一般的に低い。これに対し、専従者のいる養蚕場においては（主として県の北部に位置している）、彼等の収入は前記の場合に比べ2倍である。

神奈川県は、いわゆる近郊農業によつて特色づけられている。すなわち、東京、横浜地区の大消費市場の近くで繁栄する農業である。生産様式は極めて複雑かつ多岐にわたっているため、農業地帯は20以上の部分に分類される。したがつて、本県は

日本農業の縮図と呼ばれている。そして機械力を利用する近代的様式の農業、資本集約的園芸、畜産を伴う農業を実施しつつある。

わが農業は小農制度に基づいて組織されており、農業経営は、女、年寄、子供を含む家族労働に頼るところが大きい。このような状況の下で、成功する農家は、より多くの資本と労働の限られた土地への集中的投入をこころみている。その結果は土地の一層強化された利用である。

一エーカー当り生産の高水準は技術の発達に基づくものである。農業経営及び農業技術の改善、とくに植物栽培、化学肥料の使用病虫害の防除のために、この県立農業試験場は努力をかたむけた。

われわれは、収穫方法の調整、機械化の奨励及び土地改良によつて農業労働の生産性を高めるため努力してきた。

農業技術は1エーカー当りの増加に向けられてきたので、労働力節約を目的とした機械化の進展は遅れていた。加うるに、水田の稲作及び細分化された農地は、機械力の完全な利用には不適當である。

1960年における本県の農家経済統計によれば、一戸当り年間収入は1,765ドルである(農業外収入935ドルを含む)。したがつて、830ドルの農業による収入では生活費をまかなうことができない。赤字は、農業外収入によつてうずめなければならない。

本県の農業における現金受取は通常作物38%、蔬菜22%

果実 10%、酪農製品 8%、他の畜産物 18%、蚕業その他 4%となつている。

農業の状況は極めて複雑であり、しばしば地域により、村により、農場により、更には地面により異つている。

1960年の本県統計資料によれば、農家1戸当りの人数は5人であり、2エーカー足らずを保有している。又農家戸数は7万3,800である。

本県における13万1,000エーカーの可耕地のうち、4万2,000エーカーは水田である。水田の3分の2は排水の不良なものであり、3分の1は冬期にほとんど小麦及び大麦の栽培に用いられている。しかし6月及び11月の農繁期における労働力の状況のために、野菜類の栽培には全く用いられていない。したがって、冬期に水田で育成される野菜類の比率は、キャベツ、たまねぎ、豆類等の約15%である。

夏期には、8万9,000エーカーの山地の畠が陸稲、甘しよ、たろいも、落花生、たばこ、野菜類、いちご及び果実の栽培のために用いられている。これに対し、冬期には、畠地の75%は小麦及び大麦の栽培のために利用される。

最近、農業経営には二つの傾向がある。即ちひとつは3乃至4の主要な事業を行うという多面化された農業であり、今ひとつはより多額の投資とより高度の経営能力を要求される専門化された農業への道である。

われわれは酪農、養豚、養鶏の専門化された経営を近郊農村地帯に見出す。しかし、一般的に言つて、園芸は近郊農村にお

アンダーソン知事

アメリカではよく世論調査を行うし、これは国内及び世界のその時々事態によつて常に変るものであり、特に国際関係の影響を非常にうける。総対的に申せばローレンス知事がいつたように現大統領の就任以来の人気は高まっていると思う。

質問（幹事）

アメリカの核爆発実験再開とアメリカ憲法の関係はどう思うか。

マクニコルズ知事

誰の代弁でもない私見であるが、ソ連は何回も何回もテストして、その結果、ある特殊な分野において相当な進歩を示しているのは明らかだ。これに対してアメリカが査察を申し入れたにもかかわらず、決定的に拒否されたというのが実態であつて、その場合にアメリカは自由世界を擁護するために、均衡のために、同じような実験を行つて、それに負けないように特殊な分野において進歩をはかるということがやむをえないと思う。ソ連が進歩していくのに、アメリカ側は進歩しないで、だまつていて、しかも銃をつきつけられるという事態を、手をあげて見ているわけにはいかない、やむを得ないことだと思う。

ローレンス知事

完全に私も今の知事に同意する。私達はそうならないよう慎重に努力してきたが、ソ連が全く拒否したので、そうせざるを得なかった。

以下録音出来ず

東京都庁訪問記

(於 東京都庁 4月5日 16時)

玄関で御子柴総務局長の出迎えを受け、貴賓室へ案内された。

貴賓室では東知事、鈴木、太田克男両副知事、総務局長、外事部長、都議会議長等が同席し、握手して一同着席した。

まず都側より、東京都のカギ及びカブト（随行にはメタル）が贈呈され、都政に関するパンフレット（2冊）及びオリンピック説明書が手渡された。

東知事の歓迎の言葉に引続き、米国側を代表してローレンス・ペンシルベニア州知事より、訪日知事の署名入りスクロールが贈呈された。

一同シャンペンで乾杯し、しばらく歓談の後、記念撮影を行った。

千葉県知事県政説明

(於千葉県庁)

4月7日

知事各位並びに紳士諸君

日本における短い滞在期間中、本日わが県に対する視察旅行をなさることは非常な名誉であります。本日この県の御視察を通じて日本における現状及び基本的諸問題を理解して頂けるならば非常な幸せであります。この御視察は二国間の友好関係の推進に非常な貢献をするでしょう。

視察旅行をなさる前に、あなたがたに現在実施中の県の施策及び県政概要について簡単に御説明申し上げたいと存じます。

日本46都道府県の1つである本県は、日本の中央に位置し、太平洋に突出する房総半島を形成しております。人口は約230万で、面積は5千平方キロ、ハワイ島の約半分です。46都道府県の中で、千葉県は人口において11位、大きさにおいて28位です。それは東京都に近接しています。県庁の所在する千葉市は東京から自動車ですら約1時間で到達します。

地域的に言えば、県の北西部は東京都民に米、青果物及び海産物を供給してまいりました。しかし最近東京の衛星都市の住宅地域として開発されるに到り、又京葉工業地帯の一部(本日訪問する予定)として、内陸工業地帯として開発されるに至っています。東部では、利根川(日本で最長の河川のひとつ)の下流に沿って広大な肥沃な土地があります。銚子市は東の端に位し、日本の代表的な漁港のひとつであります。太平洋に沿って銚子

の南方にのびる地域は戦前いわしその他の漁場として有名でした。しかし現在ではいわしの漁獲高は減少に向っています。そしてこの県は関係漁民の生活の安定について心配しています。しかし幸運にも天然ガス及び砂鉄の豊富な資源がこれらの地域で発見され、この豊富な天然ガスの利用によつて化学工業が興りつつあります。

県の南部においては丘陵がひろがっています。それらの丘はそれほど高くありません。最も高いものでも海拔 400 メートルにすぎません。丘の南側は太平洋に面しており、太平洋の黒潮により暖められております。この辺りは一年を通じて非常に温暖でありますので、各種の果物や花が栽培されます。海岸は多くの風光明媚な場所を含み、多数の観光客が訪問します。

本県は首都に近く、農業及び漁業の資源にめぐまれています。そして又東京の台所と呼ばれております。したがつて、産業別従業者の配分比率については、第一次産業は 47% を占め、全国平均 33% より多くなつております。

われわれの国では第一次産業従事者の所得水準は他の産業従事者のそれに比べ低くなつております。したがつて、所得水準を引上げるために、本県は各種の他産業開発に努めてまいりました。しかし、その水準はなお全国平均よりやや低くなつております。

したがつて、本県は、県民の生活水準を引上げるために、生産性の高い産業を導入し、県の産業構造を高度化せしめました。他方、本県又は、農業及び水産業、並びに第二次、第三次産業

の中小企業における生産性を高める努力をして参りました。これらは、この県が解決しなければならない最も重要な経済問題であります。

高生産性の産業を導入しはじめてからすでに10年になります。すなわち、われわれは重化学工業を中心とする工場の使用のために、東京湾に土地の埋立をはじめました。この地域は大消費都市たる東京に極めて近接しております。加うるに、東京湾は岸辺から遠い所まで非常に浅くなっております。同湾の水は大洋の海流によつてさほど影響されません。したがつて、土地埋立のために用いる砂の浚渫が極めて容易であります。同時に大型船舶の使用に供される港湾の建設も極めて容易であります。かくてわれわれは、工業的目的のために経済的に、意図的に土地を埋立てることができます。

国家的見地から、日本の工業は、東京横浜、大阪神戸、名古屋及び北九州の四大工業地帯に集中しておりました。この偏向した工業立地は、日本経済の調和ある発展に対し好ましからぬ影響を与えます。したがつて国は、現在工業の適正配置のためこれを分散せしめる努力を続けております。

上述のすぐれた立地条件を利用して、本県は東京湾に沿つて1万1,000ヘクタール(4,700エーカー)内陸部に3,000ヘクタール(1,400エーカー)合計1万5,000ヘクタール(6,100エーカー)の土地を埋立て、県の産業構造を再編成し、1975年までの15年間における日本経済の発展に貢献せんとしております。

これらの埋立地に、生産性の高い新式の機械を備えた重化学工業を導入することに努力しております。われわれは道路、港湾、家屋その他生活に必要な施設を建設して、この地帯が優れた理想的なタウンとなることを期しています。この地帯は非常に広大であり、日本の全工業用地の約 20% を占めます。詳細については、すでにあなた方にお渡しした小冊子に示してあり、後程現場までお連れして再び御説明申し上げます。

この計画は部分的には実現しております。埋立地に建設された工場のいくつかはすでに操業しています。その結果、1960年の工業生産は1955年のその約3倍に増えました。

このことは、本県が工業県として活潑に動いていること、又本県が農業、漁業の県から工業県へと転換を始めたことを示すものです。上述の計画完成後は、本県は日本における代表的な工業県のひとつになるでしょう。

さて私は、前に簡単に言及した第1次、第2次第3次産業における中小企業の振興について申し述べたいと存じます。

第1次産業の中核である農業については、日本農業は全般的にみて行詰りに来たと言われております。他の言葉でいえば、日本の農業は極めて小さい企模で経営されており、その低生産性の故に農民の所得は非常に低いのであります。そして農業者と他の産業労働者との所得格差はますますひろがりつつあります。しだがつて、農民が農業の範囲を拡大し、農業の生産性を高めることは極めて重要であります。農業生産物に対する需要という見地から、肉、牛乳、卵、果物等のたん白、ビタミンに富む

農産物に対する需要は、労働者の所得が将来急速に上昇するにつれて増大するでありましょう。これに対し、米、小麦、大麦等の農産物に対する需要は減少すると思われれます。その結果、米を主産物とする日本農業は改革されねばなりません。この事態に対処するため、農産物の構成が現在改善されつつあります。同時に、本県は農民に対し、農業近代化に必要な、資金供給、あるいは利子補給により、財政的援助を与えています。そして農業生産の基礎を強化するため、農地改良事業を推進しつつあります。加うるに、本県は野菜類及び花卉類の栽培を奨励して、それらを本県の特産物たらしめようとしています。このように、国の政策に一致協力して、本県は農業構造を改善し、県の立地条件を充足させようとしています。

すべての零細な農民をなくすことは容易ではありませんが、県は、将来一戸当り農地面積1ヘクタール（2.4エーカー）を3倍ないし4倍にしようとしております。すなわち、県は国と協力して、農民に対し、農業経営拡大のための資金を供給しております。

第二次、第三次産業における中小企業は日本経済において重要な役割を果たしております。しかしそれらは、大企業に比べると近代化においてはるかに遅れています。それらの生産性は非常に低い。したがって、県は、国と協力して、中小企業者に資金を供給して、機械設備を近代化せしめつつあります。県は独自に、労働問題に対処するため、働く青年のために寄宿舎を建設し、中小企業労働者のための福利施設資金を供給する等の諸

施策を行なっております。

さて私は、社会保障について述べたいと思います。社会保障制度は終戦以来日本で重要な役割を果たしつつあります。それは地方公共団体及び国によつて行なわれています。本県においては、被保護者の数は年々減少しつつあります。現在約 2 万 7 千人おり、これは千人につき 12 人に当ります。これらの人びとは貧困と病気の循環に苦しんでいます。救済資金の大きな部分が医療に回されています。彼らに対し同様の医療を施すことは緊急な仕事であります。更に、県は、人びとが生活保護者に転落せぬよう、各種社会保障を普及させるとともにボーダーライン層の人びとに生活救済資金として貸付を行なっております。

公衆衛生に関しては、公衆衛生推進のため 17 の保健所が設けられております。がん及び卒中（近年死亡原因のトップを占めている。）の早期発見のため、患者は無料で検査を受けています。3 つの県立病院があり、400 ベッドを備えています。

さて、教育問題につき説明致しましょう。日本の教育制度は 6 年間の小学校、3 年間の中学校、3 年間の高等学校及び 4 年間の大学から成つています。そして小中学校は義務制であり、それらの学校は市町村の経営になつています。小、中学校の教員に対する人件費は国及び県が半分ずつ負担しております。本県においては 502 の小学校があり、29 万 5 千人の児童があり、303 の中学と 17 万 5 千人の中学生があります。就学率はほとんど 100% です。中学校を終了した生徒の約 50% は高等学校に入学します。しかし本県では、将来全員に高校教

育を施すことを考えています。本県には 52 の県立高校、5 の市立高校及び 25 の私立高校があり、計 82 校であります。生徒数については、県立高校が全体の 70%、6 万 3 千であります。

次に本県における住宅問題について述べます。本県は東京への通勤者にとって極めて良好な住宅地を持っています。そして人口は工業の発展のため増加しつつあります。かくて、人びとは、住宅が急速に建てられて行くに拘らず依然住宅不足に悩んでいます。とくに、土地を得ることが困難であります。

その結果、人びとは自分の家をどんな土地にもでたらめに建てるので、無秩序な住宅地域が形成され、水道、下水施設、道路、学校等の公共施設の建設がなされません。このことは都市計画の実施をさまたげます。これが対策として、県及び市は毎年公営住宅を建設しております。その外、県は、県の費用で、「千葉県住宅協会」（財団法人）を設立して積極的に、又弾力的に住宅対策をおしすすめようとしております。同協会はすでに 1.100 ヘクタール（6.400 エーカー）の土地を開発し、

3.000 戸の建売住宅を建てました。更に同協会は、150 ヘクタール（360 エーカー）の土地を再整理して、京葉臨海工業地帯における工場労働者のための宿所の建設を目指しています。同協会は、工業開発の進展とともに、同種の住居地帯の建設を更に進める考えです。

さて、すでに述べた諸施策の実施に関する義務を遂行している県の行政組織について申し述べます。

県の職員数は4,500です。6つの部（総務部、民生部、商工労働部、農林水産部、土木部、及び開発部）があり、その下に53の課があります。その外、財務事務所、保健所、福祉事務所等があります。知事の下に置かれた上述の機関の外に、教育庁及び警察本部があります。

県の財政状況については、一般会計予算が約266億6,200万円となっております。才入については、24%県税より、22%は地方譲与税、そして32%は国庫より、となっております。歳出については、38%は教育費に、19%は公共事業費に、9%は産業経済費に用いられています。教育費が首位に来る理由は、義務教育たる小中学の1万4,000人の教員の給与が県の予算から支払われることでもあります。一般的に言つて、県の予算は毎年増加しております。とくに、県税収入、及び公共事業費は工業開発の進展に伴つて急激に上昇しております。すなわち、これは法人税及び事業税を含む県税の増大によるものであり、他方、産業施設の整備に支払われる事業費の増大によるものであります。

これまで述べて参りました通り、県の行政は種々の分野に及んでおります。とくに、県は、県の性格を改革すべき転期に立っているために、多くの困難な問題を解決しなければなりません。しかし豊富な資源に支えられて、県は、県民の生活水準向上のため、それらの困難な問題の解決のため、非常な努力を払っております。

最後に、私の長い話があなた方の本日の実地視察にお役に立つことを願っております。御静聴ありがとうございました。

神奈川県における農業及び試験の概要

(於 神奈川県立農業試験場)

4月9日

設立以来 65 年の歴史をもっている神奈川県農業試験場は、進んだ農業技術の研究と農民の抱える困難な諸問題解決を目的として、本県の 7 万 5,000 農家のために仕事をしている。

本試験場、園芸試験場、畜産試験場及び蚕業試験場の主要な任務は、大消費都市の近郊地帯を特色とする産業としての農業を

発展せしめる方途を研究するとともに、地元農民の要望に応えるため、種々の研究や試験を行なうことである。

この試験場は農業、経済、家政学、機械化、農業生産物加工、及び普通作物（米、小麦、大麦、甘しよ、落花生等）の分野について種々の試験、研究に従事している。

これらの詳細については、「訪問者への案内」に記されている。今日午後訪問される園芸試験場はこの場所と箱根との中間に位置している。

畜産試験場及び蚕業試験場は本県の中央部に位している。

以上四つの試験場は神奈川県の管轄下にある。

畜産試験場の概要は次の通りである。この試験場の面積は 45 エーカーであり、約 50 頭の乳牛、18 頭の牡牛、豚、ひな鶏、羊及び山羊を飼っている。

18 頭の牡牛及び数頭の豚はほとんど米国から輸入されたものである。牡牛の精液が 2 万 5,000 頭の牡牛に供給され、又 600 頭の豚、4 万羽のひな鶏、幾頭かの子牛、子山羊、子羊

が適正価格で農民に供給される。

畜産試験場における主たる研究目的は、これらの家畜の労力を省いた飼養法、経済的飼養法、冷凍した精液を用いる人工受精（牛の場合）、豚及びひな鶏を経済的に肥らせる方法、肥料の処理方法等である。

さて、蚕業試験場は13エーカーの桑園を持っている。この試験場における主要な研究事項は、新しい品種の桑による飼養、病虫害及び疾患の制御、養蚕場の改善等である。

御存知の通り、生糸、及び絹製品（絹織物及び絹の衣服）はわが国における最大の輸出品であつた。蚕は暖い季節（5月から9月末日まで）に桑の葉で飼養される。桑畠一エーカー当りのまゆ生産量は、未加工の状態では290キログラムである。その価額はこの県で平均して440ドルである。しかしながら、農業における蚕業の地位は低くなりつつある。園芸、畜産あるいは化学繊維、合成繊維（ナイロンの如き）のためにその地位を脅かされている。

蚕業は通常老年男女あるいは子供の手で行なわれているので、その生産性は一般的に低い。これに対し、専従者のいる養蚕場においては（主として県の北部に位置している）、彼等の収入は前記の場合に比べ2倍である。

神奈川県は、いわゆる近郊農業によつて特色づけられている。すなわち、東京、横浜地区の大消費市場の近くで繁栄する農業である。生産様式は極めて複雑かつ多岐にわたっているため、農業地帯は20以上の部分に分類される。したがつて、本県は

日本農業の縮図と呼ばれている。そして機械力を利用する近代的様式の農業、資本集約的園芸、畜産を伴う農業を実施しつつある。

わが農業は小農制度に基づいて組織されており、農業経営は、女、年寄、子供を含む家族労働に頼るところが大きい。このような状況の下で、成功する農家は、より多くの資本と労働の限られた土地への集中的投入をこころみている。その結果は土地の一層強化された利用である。

一エーカー当り生産の高水準は技術の発達に基づくものである。農業経営及び農業技術の改善、とくに植物栽培、化学肥料の使用病虫害の防除のために、この県立農業試験場は努力をかたむけた。

われわれは、収穫方法の調整、機械化の奨励及び土地改良によつて農業労働の生産性を高めるため努力してきた。

農業技術は1エーカー当りの増加に向けられてきたので、労働力節約を目的とした機械化の進展は遅れていた。加うるに、水田の稲作及び細分化された農地は、機械力の完全な利用には不適當である。

1960年における本県の農家経済統計によれば、一戸当り年間収入は1,765ドルである（農業外収入935ドルを含む）。したがつて、830ドルの農業による収入では生活費をまかなうことができない。赤字は、農業外収入によつてうずめなければならない。

本県の農業における現金受取は通常作物38%、蔬菜22%

果実 10%、酪農製品 8%、他の畜産物 18%、蚕業その他 4%となつている。

農業の状況は極めて複雑であり、しばしば地域により、村により、農場により、更には地面により異つている。

1960年の本県統計資料によれば、農家1戸当りの人数は5人であり、2エーカー足らずを保有している。又農家戸数は7万3,800である。

本県における13万1,000エーカーの可耕地のうち、4万2,000エーカーは水田である。水田の3分の2は排水の不良なものであり、3分の1は冬期にほとんど小麦及び大麦の栽培に用いられている。しかし6月及び11月の農繁期における労働力の状況のために、野菜類の栽培には全く用いられていない。したがって、冬期に水田で育成される野菜類の比率は、キャベツ、たまねぎ、豆類等の約15%である。

夏期には、8万9,000エーカーの山地の畠が陸稲、甘しよ、たろいも、落花生、たばこ、野菜類、いちご及び果実の栽培のために用いられている。これに対し、冬期には、畠地の75%は小麦及び大麦の栽培のために利用される。

最近、農業経営には二つの傾向がある。即ちひとつは3乃至4の主要な事業を行うという多面化された農業であり、今ひとつはより多額の投資とより高度の経営能力を要求される専門化された農業への道である。

われわれは酪農、養豚、養鶏の専門化された経営を近郊農村地帯に見出す。しかし、一般的に言つて、園芸は近郊農村にお

ける有利な事業として適応性を持っている。

日本農業経済の傾向をみると、農業における商業的生産が、国民経済の発展に伴う貨幣経済の発達により促進せしめられつつある。

農地面積の変更及び農業様式の転換が、商業的農業者にとって最も重要なことであつた。

上述の如く、わが農業は小さい農地を基礎としており農作業はほとんど、報酬を受けない家族労働に頼っている。農家の約3分の1は1エーカーを持つにすぎず、全農家数の7%が4エーカー以上を耕作している。

したがって、農業者は、県全体又は国の経済の小部分を貢献するにすぎない。1人当り農業者の収入は他産業の労働者と比べて低い。

このことは、郡部における消費水準が都市部におけるそれに比べ低い上昇率を示していることを意味する。かかる農業収入の低位性にかんがみ、農家人口のうち不完全就業者の部分を工業部門への吸収により除去すべきであり、より効率的な農業手段の使用を通じて農業生産性を増大させるべきだということが、国においても県においても強調されている。

農業労働力を吸収する政策は極めて急速に進みつつあり、近郊地帯における農業者は労働力の不足に直面している。

今日、農家数の72%は、農家の家族が非農業部門に職を持つ、パートタイムの農家である。

更に、近郊農村地帯では、土地価格が「都市化」のために非

常に高い。したがって農業者が自己の農地を拡大するために新たな土地を購入することは容易でない。

たとえば、神奈川県が1958年この試験場の建設のためにこの地の水田を購入したとき、1エーカー当たり約6,000ドル要した。

したがって、自立農業者は、高い収入を得るためには、自己の農地内で限られた資源を利用せねばならない。

他方では、農業法人、共同経営など新しい手段を以て農地を拡大せんとする傾向がある。

農民が新しい農業方法を採用する理由は、所得税対策、政府からの貸付及び補助の導入、小規模の農業手段を集中することによる大量生産の優越性などである。

われわれは酪農、養豚、養鶏、温室栽培等についてこのような新しい型の農家を発見することができる。

モデル農家について

このモデル農家は6人の家族員、即ち両親、2人の子供及び若夫婦のために設計されている。

この住居展示の目的は、

個人主義と民主主義の関係をつちかうために、家族員の個人の秘密を確立すること。若夫婦の室が分離され、両親の室と子供の室との間に通路が設けられるよう特別の配慮が払われている。

各室は押入を持っている。日本の通例の家は2、3の押入を

持っているので、農民は室のひとつを家具や衣類の置場として使っている。

台所には昼食のためのテーブルといすがある。これにより足を洗う時間が省ける。そして農民は休息の時間をより多く持つ。

この地域における農家は、中央に暖房設備を持たない。通例農業者は衛生のために毎夜入浴する。そして湯で体を温める。裏口のそばにあるかまぶろはわら、とうもろこしの莖、なすの莖、落花生の莖、野草等、農作物の副産物を利用するのに便利である。

この裏口の上の屋根には太陽熱による加熱装置がある。この太陽による加熱装置は、晴れているならば一年中使用できる。

便所には水洗装置がついている。大多数の農家は、化学肥料の一部の代りに下肥を使用するので、水洗装置を持っていない。しかし日本の農民は最近労働不足及び衛生知識の普及のために下肥を使わなくなっている。

栃木県知事の米国知事歓迎の辞

(4月8日 日光金谷ホテルで)

栃木県知事 横 川 信 夫

皆さん

この度日米知事交流計画が実現し、その第一陣として、本日米国各州知事の御来県を得ましたことは、まことに光栄の至りであります。

特に地方への第一歩を本県に向けられましたことは、感銘の至りでありまして、地元日光市は勿論、県民にそつて衷心から歓迎の意を表するところでもあります。

折角の御来県でありますので、本県県勢の概要を申しあげますと、本県は面積的 2.480 平方哩で、全国 46 都道府県の第 20 番目、人口は約 151 万で第 25 位にあたります。地勢は 6 割が山岳林野地帯で、4 割が関東平野の北角をなしております。産業は従来農業を主体とし、繊維産業も盛んでありますが、最近は金属機械工業が急速な発展を遂げております。議会は 11 市 8 町 42 カ村から選出された合計 53 名の議員から成り、その内訳は自民党 41 名、社会党 6 名、民社党 3 名、革新クラブ 2 名、欠員 1 名となっております。御視察のこの地日光国立公園は日本 19 国立公園の一つで、全面積は約 35 万英加、その特色とするところは、人工と自然美がよく調和していることでもあります。年間の観光客は 900 万、内海外からのお客様は約 8 万であります。

どうか本日は、時間の許すかぎり御観賞いただき、他日再び御来遊くださいますよう、お願い申し上げます。

おわりに、御帰国の上は、州民各位によろしく御鳳声をたまわりますようお願い申しあげて、私の御挨拶といたします。

神奈川県における園芸の概要

(於 神奈川県立園芸試験場)

4 月 9 日

神奈川県は日本の中心部に位しており、気候は園芸作物の成育のために比較的温順である。

東京、横浜、川崎、湘南のような大消費地にとりかこまれているので、農業の形式及び農民の農業に対する態度は明らかに近郊農業特有の特徴を示している。

園芸は家族労働を基礎として行なわれているが、それは一種の商業的農業であり、野菜、果実及び花卉の栽培面積の比率が特に高く、全国で最高の水準を維持している。

神奈川県は、日本園芸の縮図だと言われている。

本県における園芸作物の総額は 3,200 万ドルであり、これは本県における全農業生産物の約 3 分の 1 を占める。

野菜、果実及び花卉の総額はそれぞれ 2,100 万ドル、1,000 万ドル及び 130 万ドルである。

野菜の主産地は、横浜市の郊外、湘南地方（相模湾沿岸）及び三浦半島であり、一年を通じて気候が温暖である。疏菜農業は最も集約的で多様な農業であり、危険を伴う。それは多量の労働力投入を必要とし、市場における蔬菜の価格は季節により変動する。

多数の疏菜農業者は、自らの生産物を都市部における食料商や消費者に直接売る。というのは小売価格に占める販売のためのコストが非常に大きいからである。

横浜市の郊外では、きゅうり、とまと、レタス等が春のはじめ頃ビニール室で栽培される。

湘南地方では、いちごの早期栽培が盛んに行なわれている。いちご栽培は最も集約的な農業の一つである。いちごは水田や高台の温床で石又はコンクリートの壁の上に栽培される。一般的に言つて、農民は平均して 0.25 エーカー以上のいちごは栽培できない。

いちごの収穫期はクリスマスの時期である。最近、多くの農民が、それが大きな現金収入をもたらすため、いちご栽培をはじめている。但し同時に多くの労力を必要とする。

一栽培期毎に必要なとされる労働量は、0.25 エーカー当り約 200 人であり、資材費は 0.25 エーカー当り約 110 ドルである。普通の年で総収入は 0.25 エーカー当り 550 ドルである。したがつて、この企業の収入は非常に高い。この試験場で石の壁に作つているいちごを見ることができる。

本年 2 月、県いちご生産者協会がはじめていちご数箱をロンドン及びハンブルグへ空輸で輸出した。(県の後援による。)

三浦半島では、秋と冬の大根、カリフラワー・プロコリー、夏のすいかが主要な野菜である。日本の植物学者木原博士の考案によるたねなしすいかがこの地域で栽培されている。

果樹の栽培面積は約 1 万 1,000 エーカーであり、これは本県の可耕地面積の 9% である。

柑橘類の主産地は、相模湾に沿つた箱根外輪山地帯の東南部であり、この地は温暖な気候に恵まれた傾斜地帯からなつている。

みかん類は海拔 1,200 フィートの所まで成育させることができる。そしてこの県のみかん類生産の 45%はこの地域で生産される。

多くのみかん畠が東海道線に沿つてのびている。西方の柑橘地帯に、県立の試験場がある。

柑橘類栽培者の多くは専従者としてこれに従事している。みかん類栽培地は全果樹園の 3分の2を占めている。全生産量は毎年 6 万トンである。

全生産量の約半分は 2~3 カ月間貯蔵され、農民は春のはじめにそれを売る。

みかん類の輸出は、米国、英国及び西ドイツにカン詰め形で輸出され、カナダに生のまま輸出される。

今召し上つておられるみかんは、試験場で 6 カ月間貯蔵したものである。なし、もも、ぶどう、かき及びくりは県の至る所で生産されている。県内にはみかんの主産地といったものはない。

花卉栽培は専門化された農業の一つである。今日、主な花はカーネーション、ばら、スイートピー、熱帯植物等である。

それらは温室（暖房装置付きの）で栽培され、全生産物の約半分は東京方面へ送られる。

球根植物の花及び幹は暖房設備のない温室で栽培される。とくに、ゆりの球根は本県の北部山岳地帯で栽培されており、輸出向けに生産されている。

山ゆりは神奈川県を象徴する花である。内山知事が 1951

年県花として山ゆりを選んだ。その後、この国の大多数の府県がそれぞれの花を決めるに至った。

三浦半島では、気候温暖のため多くの種類の花が栽培されている。

この県立試験場は園芸技術センターとして研究を行ない、研究の結果を農民に伝えている。

この主な建物は昨年 13 万ドルの建築費を以て再建された。研究員及び助手は全員で 55 名である。(事務員、臨時職員を含む)。

この試験場の面積は 20 エーカーである。この外に、この試験場の管轄下にある 2 つの支部がある。ひとつは根府川試験地、今ひとつは三浦試験地である。

これらの試験地における主な研究は次の通りである。蔬菜の分野では、新しい品種の育成、ビニール・ハウス及びビニール・カバーを用いる近代的栽培法、いちごの促成栽培法、病虫害及び病気の制御、土壌肥料の保持、能率的栽培法、農業労働の簡素化、又果実の分野では、永年栽培に対する障害の除去、能率的収獲法、貯蔵技術の改善、樹葉の成分の分析による施肥の改善。花卉の分野においては球根類花卉の促成、栽培の簡易化、簡易労力節約法、熱帯植物の増殖。

(以上、神奈川県農業試験場・神戸経営部長)

藤田園芸試験場長

10 年前、フロリダ州立試験場を訪問した際、グレープ・フ

ルーツの接ぎ木の枝を幾本か贈られました。このグレープ・フルーツは 3 年前より伊豆半島にて生産に成功しました。根府川試験地で接木しましたが、そこでは伊豆半島に比べ気候が寒冷なため結果は余り良くありませんでした。

私のこのグレープ・フルーツをフロリダ州知事ブライアント氏にお贈りしたいと存じます。

神奈川県知事の米国知事一行に 対する県政説明

(於 神奈川県庁 4 月 9 日)

別冊英文「かながわ」を要約説明した。

(各府県に一冊宛贈呈されたので参照せられたい)

愛知県知事の米国知事一行に対する県政説明

(於 愛知県庁 4月11日)

箱根の会議は終始成功のうちに終りまして、本日ここに皆様方を当地へお迎えできることはまことに喜びに堪えません。

ただいまお手元にお配りいたしました冊子“Introduction of Aichi”は私どもの愛知県の日本における地理的、経済的、社会的な地位をご紹介申し上げると同時に、行政府としての愛知県が、どのようにその責任を果しているかをご紹介申し上げるものであります。

印刷物はその封筒の中に入れてお読みいただければだいたいのことはおわかり願えることと存じますが、なお一般的事情について概略お話申し上げたいと存じます。

はじめに申し上げたいことは、地理的にも経済的にも、社会的にも、日本はアメリカ合衆国や、西ヨーロッパ諸国とは非常に大きな相違があるということでございます。

例えば人口について申しますと、1960年において、1エーカー当りの人口は、米国が0,8人、英国が8,6人であるのに反し、日本は実に101人となっており、人口密度は米国の約13倍であります。

こうした相違は、人口に限らず所得に関しましても言えることでもありますし、さらに国民の生活態度、生活様式においても存在するものであることを考慮されたうえで、この紹介書をご覧いただければ、非常に幸いに思います。

さて、愛知県の日本に於ける地理的な位置づけをいたしますと、本県は、丁度日本列島のほぼ中央部に太平洋に面して位置しております。そして日本の第三の大都市でロスアンゼルス市と姉妹都市の関係にあります名古屋市を中心に広がる大工業地帯を、その内にもつているのでございます。

本県の人口は、1950年には339万人、1955年には377万人、1960年には420万人を数え、その後も急増を続けております。これは、本県の経済の発展が非常に著しいことを示しているのでありまして、ここ数年の県内生産所得は年々11.4%の増加をみせているのも、その表われでございませう。

本県の行政組織は第12ページの表のとおりでありまして、ここに働く職員の数は教員および警察官を除きまして、8,000人以上を数えるのであります。

この行政機関（あるいは執行機関）に対しまして、立法機関ともいふべき県議会がありまして、年4回の定例議会のほか時に応じて臨時議会を開催し、県行政の最高方針を決定しております。

また県財政の規模は約700億円（\$194mil）に達し、以下この冊子に述べるさまざまな仕事に投入されているわけでございます。

本県の産業について申しますと、農林、漁業につきましては、最近の工業の発展から労働力が、工業、商業に移動しつつあり、また、農地、漁場などもだんだんせばまつているため、生産性

の向上が最も必要とされております。

そのため経営規模の拡大および合理化や機械力の導入などを推進すると同時に、愛知用水、豊川用水などのかんがいのみならず、飲料水、工業用水としても使用される多目的な用水であります。

一万工業につきましては、重工業の発展が本県の経済発展の基礎であるため、離海工業地帯を造成するとか、自動車、車両などを生産する内陸工業地帯を整備するとか、あるいは道路網をはりめぐらしたり、工業用水道を建設したりしているわけがあります。

この冊子の中で **Industry** の項や **Transportation** の項や **Water** の項をみていただければご理解できることと思います。

工業のうちでも繊維、陶器、自動車、車両、木材、家具類、機械類などは、本県において非常に盛んになつていますことは **Industry** の項においてご覧いただきたいと思ひます。

なお、皆様方の前に置いてあります七宝焼は、生産は少ないものですが当地の特産物であります。

青磁色の器は近年生産されるようになりました新しい製品です。

当地ご訪問の記念のおみやげとして、さし上げたいと存じます。

道路、鉄道、港湾など輸送施設につきましても **Transportation** の項でくわしくご説明いたしております。

Water の項におきましては、わが国最大の用水事業である愛知用水、豊川用水などにつきまして、その役割などをご説明いたしております。

それでは県民の生活につきましてはどのようなものであるかと申し上げますと、次の Public Services の項で、教育、民生、衛生、住宅等の諸問題につきまして、その現状と県の施策とをご覧いただきたいと思ひます。

第二次大戦以後県民生活はこのように回復し、かつ、向上してきたことにご注目いただければ幸いです。

さて、1959年9月に、この地方を襲いました台風ベラ（これを日本では伊勢湾台風といいますが）につきましては、いま思い出すのも悲しい出来事でございます、わが国で有史以来最大の被害が発生したのであります。

しかしながら、当時与えられました諸外国の援助、とくに貴国海軍の果敢な救助活動は、現在におきましても感謝のまとなつておりまして、その後の県民の復興活動をどれだけ力づけたかわからないのです。

この小冊子の中にも、当時の写真が出ておりますのでご覧いただきたいと存じます。

この機会に県民の貴国に対する感謝の気持をお伝えいたしたいと思ふのであります。

さて、これまでご説明申し上げてまいりました本県の県民の生活様式をより高い水準に発展させるには、長期的な将来計画を作成することが必要であり、これにもとづいて、諸行政施策を行うことが、最も能率的であるということは、いうまでもな

いことであります。

したがいまして、そうした計画につきまして現在 **New Regional Plan** と呼ぶ第二次長期経済計画を作成しているのありますが、その内容は 8 年後の 1970 年に県民 1 人当りの個人所得を現在の 3 倍にしようとするものであります。

そのためには、これからどのような目標をたててゆくべきかにつきまして、52 ページ以下にご説明申し上げたわけですが、この計画を達成いたしますためには、今後の国際貿易の拡大が非常に大きな役割を果すことになるのでありまして、貴国との親善関係のより緊密化をもつとも念願しております。

この意味におきまして、本日皆様をお迎えしてこの会合を開きえしましたことは、大変意義深く、また今後の計画のうえにも成果があるよう希望しております。

米国知事歓迎晩さん会あいさつ ー 愛知県知事 ー

(於 八勝館 4月11日)

愛知県民一同は、今回米合衆国州知事の皆様が、かくも多数ご来訪いただきましたことをこの上もない光栄と存じております。県民一同を代表いたしまして皆様方のご来訪に対し、心からお礼を申し上げます。

一 去年は、丁度日米両国が友好関係に入りまして百年目でございます。皆様方のご来訪は、両国関係が第二世紀に入る門出を飾るものでございます。

皆様方と、ともどもに手をたずさえて世界人類の平和と幸福、自由な強力且つ繁栄した社会建設のため、努力いたしたいと存じます。

去る二月の下旬、貴国のグレン空軍中佐が宇宙飛行の大偉業を達成せられましたときは、日本国民は皆欣喜雀躍いたしました。

私共は、今や科学の驚異を引き出して人類の福祉に役立てることが出来る時代に入ったのでございます。

貴国の若い偉大な指導者であるケネディ大統領のお言葉をお借りすれば「われわれが力を合せればできないことはほとんどなく、また、われわれが相い離反すればほとんど何もできない」のであります。

当地の綿織物工場の機械は貴国から輸入された綿を原料として、製糸、製布に活ばつに動いております。また貴国の多くの家庭においては、当地から輸出されました陶磁器、ミシン等が愛用されていることと存じます。

貿易、文化、国家の安全等すべての面で私共の利害は共通し

ております。

本日も出席のネバダ州知事閣下の州のモットーである「わが国のためには、すべてを」を一寸かえさせていただきまして「われわれ両国のためには、すべてを」と申し上げ私の歓迎のあいさつといたします。

愛知用水公団理事長挨拶

— 成田理事長 —

(於 愛知用水愛知池、4月12日)

本日は、遠路を、お忙しい日程の中から、知事各位にわが事業の一部たる愛知池を御覧頂くことは非常な名誉と考えます。愛知用水は、日本における最初の、そして最大の総合開発計画であり、1955年に着手され、1961年に完成しました。

この事業の目的は、3万ヘクタールの土地に灌漑用水を豊富に供給すること、需要のある諸地域に、都市用水及び工業用水を供給すること、及び発電を行なうことであります。

この事業は貴国のテネシー溪谷開発公社の事業から多くの示唆を得て立案され、遂行されました。又本事業の財政、建設及び農業経営の諸部門について貴国より多くの援助を賜りました。換言すれば、この画期的な愛知用水事業は、日本及び米国の密接な協力のすぐれた成果であります。

私はあなた方が今回は愛知用水の全地域を御覧になれないことを非常に残念に思います。しかし、その代表的な施設の一つであるこの愛知池を御覧に入れるわけであります。私は、もしあなた方が日本の他の印象といつしよに私どもの事業を御記憶下さるならば、非常に有難く、又光栄なことと考えます。

愛知用水の説明 一愛知用水公団理事 清野保一

(於 愛知用水愛知池 4月12日)

まず最初に申し上げたいことは、本事業は、日本の TVA と呼ばれるところの一大総合開発計画であるということです。しかしながら、米国の TVA と異なり、私どものそれは農業の開発に重点を置いております。水力発電及び都市用水、工業用水の供給は第二次的な計画であります。3万ヘクタール（7万5,000エーカー）の農地の灌漑及び上述の都市用水、工業用水の供給のために、われわれは木曾川の上流に、日本第二の高さのロックフィル・ダム（高さ81メートル、貯水能力7,500万トン）を建設致しました。このダムによつて貯められた水は、最大出力3万4,000キロワットの 신설発電所によつて利用され、更に、河を120キロ下つて兼山の取入口に達するまでの下流地域に存在する15の発電所の発電量を高めるであります。この兼山取入口から、1億4,000万平方メートルの農業用水及び4,500万立方メートルの都市、工業用水が毎年取水され、112キロの幹線水路及び1,100キロの支線水路を通じて、農業用水が受益地域のすみずみに配られることになっております。又都市用水及び工業用水の供給のために、4つの浄水場が建設されました。

本事業の経費総額は423億円（1億2,000万ドル）であり、総事業は、公団が1955年に設立されて以来わずか5年以内に、全く最初の計画通りに完成されました。このことは、日本における建設事業の歴史において特筆すべき事実であります。

す。さて、本事業の特徴を以下述べてみたいと思います。

(1) これは、日本ではじめて世界銀行から資金を導入した総合開発計画であります。

(2) 本事業の遂行において、アメリカの進んだ技術が設計と建設の面において導入されました。しかし、それらは日本の風土的条件に応ずるように消化されました。

ダム、水路その他のこの種の構築物の設計は、日本ではじめて行なわれました。

(3) これは、いわゆる総合開発計画であり、ダム、取入口、幹線水路等の大きい施設の建設は、公団の責任の下に実施されました。発電並びに都市用水及び工業用水の供給のための資金が公団によつて用意されました。

そしてこの事業は、関西電力及び愛知県によりそれぞれ実施され、かくて事業の全分野が同時に完成されました。

(4) 農業開発計画は、山地の農地 1 万 2,000 ヘクタールの灌漑を計画しており、これは、全灌漑面積の 40% にあたるものです。この広範な山地灌漑計画は日本最大のものであります。

(5) 愛知用水事業は、将来、名古屋を中心とする地域の工業開発のために大きな貢献をするであります。現在、最近建設された東海製鉄がその工業用水として愛知用水に依存しております。

事業費の割当は、各事業に対しそれぞれなされ、土地改良区(受益者団体)、愛知県及び関西電力により 15 年乃至 20

年にわたって償還されることになっております。日本では、水は農民に対し定った価格で売られておりませんが、農民たちは、国庫補助、県の支出を除いて事業費を負担しております。したがって、1エーカー当り33ドルの額が、農民たちによつて15年の期間に償還されることになっております。農民が負担すべきこの額は決して低いとは言えませんが、名古屋市における果実、そ菜及び花に対する需要が高まり続けるにつれて、農民たちはその額を償却し得ると考えられます。

あなた方に御理解願いたいことは、この事業は日本が大量の食糧を諸外国から輸入していた時に立案されたということです。したがって、農業開発は、主として日本人の主食たる米の生産増大を目的として計画されました。しかしながら、現在わが国の米の生産は、日本がほとんど自給できる段階に達し、他方では、日本は工業において著しい進歩をとげたので、事業の目的の部分的変更、たとえば農業生産物における米から果実及びそ菜への重要度の変化、あるいは名古屋市の郊外地における工業発展に歩調を合わせるため、ある農地を工業用地、住宅用地に転換すること等が予想されております。したがって、これらの変更によつて生ずると考えられる余剰農業用水は更に工業発展のために利用され、農民の負担が軽減される結果となります。換言すれば、時代の変化と進展は愛知用水事業に新しい使命を加えたわけであり、その将来は愛知県の繁栄とともに輝かしいものに見えます。 終りに、感謝をもつて申し上げたいことは、この事業は愛知県知事の熱心な御協力並びに貴国よりの顧問技術者の大きな御援助により完成されたことでもあります。

京 都 府 副 知 事 県 政 説 明

(於 京 都 府 庁 4 月 12 日)

京 都 府 行 政 に つ い て

京 都 府 政 の 概 要 に つ い て は 、 お て も と に さ し 上 げ た 文 書 に よ つ て ご 諒 承 を え た い と 存 じ ま す 。 私 は こ こ に 、 京 都 府 の 行 政 上 に 重 大 な 影 響 を も た ら し つ つ あ る 次 の 3 つ の 特 殊 事 情 に つ い て 申 し 述 べ た い と 思 い ま す 。

そ の 第 1 は 、 京 都 の 住 民 生 活 の 現 状 と 、 そ の 近 代 化 に と も な う 諸 問 題 で あ り ま す 。 京 都 は 、 ご 承 知 の 通 り 過 去 千 年 の 長 い 間 、 日 本 の 首 都 で あ つ た と こ ろ で あ り 、 歴 史 的 に 累 積 さ れ た も の が 、 そ の ま ま 今 日 に 維 持 保 存 さ れ て い ま す 。

今 次 大 戦 に お い て 、 世 界 の 有 識 者 と く に 米 軍 の 特 別 の ご 配 慮 に よ り 戦 禍 を 免 が れ 、 私 共 は そ の ご 好 意 に 心 か ら 厚 く 感 謝 申 し 上 げ る と 共 に 、 今 後 の 京 都 を 如 何 に す る か に つ い て 重 大 な 責 務 を 感 ず る も の で あ り ま す 。

京 都 の 都 市 形 成 は 、 千 年 前 の 平 安 京 に 由 来 す る も の で あ り 、 そ の 町 名 、 街 路 名 、 地 番 も 昔 の ま ま で あ り ま す 。 こ こ に 居 住 す る 住 民 の 生 活 が 昔 日 の 如 く で あ り ま す な ら ば 何 ん の 苦 心 も 要 し な い の で あ り ま す が 、 如 何 に も 区 画 整 然 と し た 家 並 街 路 は 散 策 歩 行 に 快 適 で あ り ま す 。 し か し な が ら 自 動 車 軌 道 等 の 交 通 機 関 に は 不 適 で あ り 、 近 代 産 業 に 必 要 な ビ ル デ ン グ も 工 場 も 、 随 所 に 散 在 す る 宗 教 施 設 や 家 内 工 業 を 主 体 と す る い わ ゆ る 伝 統 産 業 に 制 約 さ れ 、 近 代 都 市 と し て の 環 境 衛 生 、 保 健 体 育 、 リ ク リ エ ー シ ョ ン 施 設 も 、 神 棚 、 仏 壇 、 床 の 間 、 畳 、 障 子 、 縁 側 、 庭 先

を構え、閑静な思索と休養を主とした京の家の生活様式を根本的に改めぬ限り住民生活にそぐわないものとなつてしまいます。この古い都に如何に近代的なものを取り入れ、古いものと新しいものを調和させていくかということは、単に都市計画上の特定地域指定や建築制限の問題にとどまらず、京都の産業経済教育文化のうえに、住民の日常生活に幾多の矛盾撞着を生じ、府行政の運営に常時配慮せねばならぬところであります。

第 2 に京都の人口 200 万人中産業労働人口は約 100 万であります。そのうち農林漁業 17 万、商業 20 万、サービス業 20 万、工業 30 万その他が運輸交通、公務、自由業であります。

商業、サービス業の比較的多いのは京都の特殊事情であります。さらに工業において全工場 2 万のうち約 1 万、従業者 30 万のうち約 8 万が繊維工業であり、しかもそのほとんどが絹織物及び染色加工業であり、3 人乃至 5 人の家族労働を主とする家内工業が 80% を占めていることは、京都以外他に例のないものであります。これらの工場における生産品は、何れも千年の歴史の各時代の文化を現わすものであり、その各々の部門の最高水準を示すものであります。

私はここに西陣織、丹後ちりめん、京染、金襴、つづれ織の和服に欠くべからざるものであり、その生地、色彩、模様が四季着用の目的、場所、男女、年齢によつて多種多様のものであることを申し上げる暇はありませんが、過去の日本人の生活文化からにじみ出たものであることを申し上げて置きます。そし

てそこに統一された規格での大量生産が行われない理由もある
のであります。

このことは被服、京人形、京扇子等の服飾、装身具にとどま
らず、住居の京間、室内調度品としての木竹、工芸品、漆器、
陶磁器、食物としての京料理、京菓子にもおよび、広い京都の
伝統産業の分野を形成しているのであります。

以上につきましては皆様の京都における視察ご日程中にも幾
分取入れられてありますので実地にご覧いただきたいと存じま
す。府行政におきまして、近代産業に関連する中小企業問題の
ほかに、零細企業としての伝統産業を如何にするかというこ
とは重要な案件であります。

第 3 に京都 200 万人口中 100 万の産業労働人口以外は、
50 万を越える大中小学生生徒と、25 万の幼児及び 25 万の
老人家庭主婦となっております。

京都が明治初年即ち 1869 年義務教育制度を完成し、我が
国近代教育の先駆をなしたばかりでなく、古来教育文化の地
あり、そしてそのにない手として宗教が大きな役割を果たして
来たことは、見逃してはならぬ事実であります。

府下に 2,500 の神社と 3,000 を越える仏寺があり、そこには
又さん然として輝く建造物、庭園、仏像等の彫刻、書画、生花
茶に関する器具を蔵しているのであります。

しかもそれらは殿堂の奥に退蔵されているのではなく、民衆
がこれを引き出し自分達の日常生活のうちに取り入れているの
であります。各家庭の行事のみならず、年中を通じて間断なく

市民の参加によつて行われる各種の社寺の祭礼、催しが、京都ほど盛大であり多いところはありません。

国家的に保護されている文化財は、全国の指定総数 8,952 件中実に 1,752 件と主として京都の社寺に在り、その数量のみならず質において何れも抜群のものであります。これ等の尊い遺産を如何に維持保存して現代及び後代に役立てるかは、京都府政の重大な関心事であります。

(おわり)

宗 教 座 談 会

1. 日 時 昭 和 37 年 4 月 14 日 (土)
午前 9 時半から 12 時まで
2. 場 所 京 都 国 際 ホ テ ル 二 階 宴 会 場
3. 出 席 者

米 国 側

ペンシルベニア州知事	デイビッド・L・ローレンス
フロリダ州知事	ファリス・ブライアント
カンサス州知事	ジョン・アンダーソン
ネバダ州知事	グラント・ソーヤー
サウス・ダコタ州知事	アーチャー・カブラット
米国全国知事会事務局長	ブレバード・クリフイールド
米国务省教育文化局	ステーブン・アベリー・ドブレンチャク
米国大使館二等書記官	ジョン・シルベスター
クリフイールド氏秘書	ロイス・マーフィー

日 本 側

八坂神社宮司	高 原 美 忠
天理教真柱中山正善代理	高 橋 道 雄
清水寺貫主	大 西 良 慶
臨濟宗妙心寺派管長	古 川 大 航
真宗大谷派	蓬 茨 祖 運
浄土真宗本願寺派総務	安 部 大 悟
日本聖公会京都司教区司祭	大 岡 義 政
カトリック教会	クレランス・ウイツテ

京都大学教授・文博	西谷啓治
PL教団教主	御木徳近
文部省宗務課長	近藤春文
京都府教育委員長代理	山田忠男

4. 座談会の経過の概要

まず文部省近藤宗務課長からあいさつがあり、引続き日本における宗教について概要説明が行なわれた。次いで出席した宗教界各派代表による、各派に関する説明及び主張の陳述が行なわれた。その後質疑応答に移り、米国知事よりの質問に対し、日本側よりそれぞれの立場から説明があつた。

座談会終了後、出席者一同は同所にて昼食を共にして歓談し、午後1時散会した。

出席者の発言大要は別紙の通りである。

近藤氏（文部省）

日本における主な宗教としては神道、仏教、キリスト教の3つの大きな流れがある。神道は最も古くから日本人の間に信仰され、仏教は552年朝鮮から渡来して日本人に受入れられた。キリスト教は最も遅く16世紀にポルトガル宣教師によつて伝えられた。現在信徒数は神道約7,800万、仏教約5,000万、キリスト教約64万、諸教400万、計133百万人となつており、各派が並存している。

西谷氏（京大教授）

現在、日本においてはいろいろな宗教宗派が並存しているが、これはそれぞれ独立していて互いに無関係な習合的並存と見るべきではなく、複合的全体として解釈せねばならない。単なる Syncretism (シンクレチズム) (諸派の混合) と考えることは正しくない。

高 原 氏 (八坂神社)

神事は、古来村の祭りから国の祭りと変ってきて、その目的は民衆を平和にせしめるということにある。軍国主義国家主義とは関係がない。

その趣旨は、自己の過ち、罪というものを世間のためにつくすことによつて清める、神に懺悔する、感謝というものを神に捧げるということである。そして世の中みんなのことを考えるということである。

安 部 氏 (浄土真宗)

現在、日本には国際親善宗旨会というものがある。昔は、互いに宗論を闘い合ったものであるが、現今では親善を目的として相互に援け合うという傾向となっている。

仏教は、この京都市民の生活に深く結び付いている。いかにしてこの宗教が京都市民に習慣づけられているか？これには長時間の説明を有する。

われわれの信仰は絶対の恵み (absolute dependence アブソリュートデペンデンス) を特色としており、とくに危機の時期に信仰のよりどころとされてきた。

明治以降は神道と対立するに至り、更に欧米の思想が入ってきて、3つのものがそれぞれかけはなれたものとして存在を続けた。

大 西 氏（清水寺）

仏教が如何にして日本へ伝来したか、これは、簡単にこうご理解願えばよいのではないかと存じます。

つまり紀元 500 年から 600 年頃、仏教が学問として受け入れられ、これが平安時代には形を変え、鎌倉時代には更に変わって現在に至っている。

受け入れられた当初は、仏を中心としたものであったのが、平安時代には、法中心の信仰となり、次の鎌倉時代になると、僧の信仰となり、宗派を中心としたものとなつた。現在はこれら仏、法、僧を総合したものである。この仏教が、特に庶民の間に、どういう風に生きているかということは、先程から日本宗教の特殊的な問題として話題となつているが、この仏教が各自の差別性を認め、それに応じた各自の信教を認めるということは、それぞれの生活環境から生れてくる差別性をみとめるということである。また、そういった差別から自然な信仰心が生じ、これを受け入れるため種々の宗派が発生したが、これは一口にいつて、それぞれの時代に即応したもの、つまり一般の生活に伴う仏教ということになるのである。

現在は人間は人間らしくあればよい。つまり人間はこの仏教を通じて、正しく人間らしい生活を営めばよいということに

なっている。何も釈迦の真似をせよというのではない。

古川氏（92才の禅僧 臨齋宗妙心寺派）

日本仏教と禅について説明する。禅には易行門と聖道門とがある。私は聖道門であるが、この禅は前に説明された仏教のいずれにも属さない。

例をあげれば、この卓上にある紅茶はセイロンで産したものか、それか日本で産したものか、またこれを飲めば如何なる効果があるか？

前に説明された方々はそれぞれ種別効果について述べられたがこれはいずれも結局「説明」にすぎない。

昔の人すなわち古代の人々が行なつたようにこの紅茶がのどを通る時に舌を以て味わうというのが禅である。即ち直接的体験を第一義とする。禅の方向性に五戒というのがある。すなわち殺生、偷盗、邪淫、妄語、飲酒、の5悪である。そのうち妄語のみは法律では罰せられない。

それにつけて思い出すのは明治初年小学校低学年の時習ったワシントンのお話である。ワシントンは子供の時父親が大切にしていた桜の木を切った。そして父からとがめられたとき、「私が切った」と悪びれずに言った。父は桜を切られたことよりそのことが嬉しいと言ったという。この話は禅の宗教性に通ずるものである。

クレランス・ウイツテ氏（カトクツク教会）

日本におけるキリスト教人口は 40 万乃至 80 万人であり、従って民衆の間に十分浸透しているとは言えない。しかし、今後における発展の可能性は十分ある。

御 木 徳 近 氏 (P, L 教 団)

新しい宗教は常に迫害を受けてきた。今から 11 年前新宗教 87 団体を網羅して日本宗教連合が組織された。

信仰の自由を第 1 とし、第 2 に互いに助け合うこと、第 3 に信仰が異なっても神を信仰するもの同志が相和さないのはよくない。以上 3 つを柱として結成された団体である。この 600 万人を包含する団体が争つたりしない。人々はこの呉越同舟を不思議だと言っている。実際皆仲よくやっている。古い宗教とも仲良く、共同目的のために協力してきた。私は理事長を 2 回務めた。それぞれの立場があるが、宗教が異つても仲良くやれるはずだ。

P L 教 団 の 教 え

人間は神から善意、まごころを与えられている。善意をつくりて人びとが生活していくならば、それが世の中を作る大切なものであり、世界平和が実現する。人生は芸術生活であり、そこにおいてその人その人のおい、持味がおのずから現れる。芸術生活はイメージの造形である。それは社会のための自己表現でなければ無意味である。

現在毎月 1 万人以上の信者を獲得している。

信仰に基づいて真の人間を造るということは、非常に喜ばし

いことである。生活すなわち宗教という方向に持つていくこと、生活を楽しみつつ宗教を信じていくこと、これが最も望ましいことである。

世界平和のために宗教連合を結成することも敢てする。外国では寛容の精神に乏しいために仲々そういうことができない。

高 橋 道 雄 氏（天理教）

天理教は有力な教派神道として中山みきが 1838 年にはじめたものである。現在教会は 1 万 5 千ある。20 世紀はじめ、海外各地に布教師を送った。戦後日本人が引上げた後も、台湾に数カ所、韓国に百数カ所教会が残っている。現在アメリカに 70、ブラジルに 20 の教会がある。

（質問） ローレンス知事

信者の中で若い人はどの位の比率を占めているか。宗教が若い人びとに受入れられているか。

（答） 近 藤 氏（文部省）

信者の大部分は 30 以上で青年層は少ない。（新宗教は例外だが）

高 橋 氏

天理教では毎月講習会を開き、1 カ月に約 3 千人の入信者を得ている。かつては 30 代後半の者が多かったが、現在では 20 代前半に移行している。

天理教に関する限り、青年層にも十分受け入れられていると言える。

ウイツテ氏

キリスト教入信者はほとんど若い人びとである。

安部氏

われわれは日曜学校、青年学校を盛んに行なっており信者の20～25%が若い人で占められている。

奈良県知事県政説明

(於奈良ホテル)

4月15日

皆様奈良へようこそおいで下さいました。

私は、あなた方に私の県でお目にかかれて非常に嬉しく思います。

本日は日曜日であります。それで、私の県の事情について余り多く語ることは避けたいと存じます。ごく簡単に、わが県は78万の人口を持つております。人口に関する限り、これは日本で下位より3番目であります。これに関連して、私は先日デラウェア州の知事さんが、自分の州は44万の人口を持つていたと言われたのを記憶しております。(その知事さんは今日この席には見えませんが)

県民の生計について申し述べますと、わが県では近郊農業が繁栄しております。これは大都市に近いという事情によるものです。林業も盛んであります。しかし大工業あるいは大商社はありません。なぜなら本県は工業にとって肝要な地理的適性を欠いているからであります。したがって、県税収入は全国で最下位から三番目となつております。(但し、1人当りの収入はかなり高く、全国で9番目です)。

これらが、本県の大ざっぱな概略であります。本県の顕著な特徴は国際観光地として、豊富な文化遺産にめぐまれていることでもあります。

本日私は、通訳者の末永氏を派遣してあなた方の御案内を致

させました。彼はすでに色々と皆様に申し上げてあるはずですので、私から更に奈良の歴史について申し上げる必要はないかと存じます。

ただ一つだけ申し上げたいことがあります。すでに御承知かと存じますが、日本の最も古い時代に歴代の天皇が奈良に住まれました。そして、7世紀、8世紀に仏教は高貴な人びとの間で非常に人気がありました。そして多数の寺院が建立され、多数の仏像が作られました。

その中の多くのは今なお完全な状態で維持されております。本日皆様は法隆寺（世界最古の木造建造物）を御覧になったわけでありまして。それは一例にすぎません。重要な点は、寺院及び仏像を含む芸術作品の多くが、地下でなく、地上で維持されてきていることです。

人びとの間では、奈良は古代美術愛好者のあこがれの地となっておりまして。外国人の間ですら、奈良は古い文化的遺産のために有名であります。

たった1日では奈良見物に十分ではありません。少なくとも3日を費さねばなりません。しかし皆様は今回は非常にお急ぎであります。私は皆様が、別の機会にここにもつと長く滞在できますよう心から希望致します。

大阪府知事の米国知事一行に対する府政説明及び 歓迎昼食会あいさつ

(於 大阪府庁 4 月 15 日)

(於 つるや)

I 米国州知事一行来阪にともなう知事の府政説明の概要

来阪した米国州知事一行に対する府政説明は、主としてカラー
ースライド約 70 枚を使用して 1 時間余にわたって行われたが、
その要旨は次のとおり

1 大阪府の概要

大阪は日本のほぼ中央部に位置し、古来から水陸交通の要
衝として、また古い文化を有し商業の都として栄えてきた。
現在の大阪府はその面積は全国府県のなかで最狭であるが
570 万の人口を擁し、わが国産業経済の中心として繁栄を
続けている。この大阪の行政をあずかる大阪府は 1 万人の職
員と年間 1 千 2 百億円の予算をもつて産業、経済、文化、教
育などの諸般において府民の生活向上、福祉増進に努めてい
る。

2 産 業

わが国の産業経済の中心たる大阪には、各種産業が存在し、
活発な生産活動を営んでいるが、最近の技術革新に対応し産
業構造の高度化と中小企業の育成に努めている。

3 貿 易

現在、大阪の輸出入の状況はアジア、アメリカが主要相手
国であり、本年 1 月以降の対米輸出は前年の同期に比し大幅
の増加を示し、今後ともこの好調が持続されるものと考えら
れるが、来阪米州知事一行に対し知事からこの面の協力配慮

につき特に依頼があつた。

4 臨海工業地帯の造成

大阪の将来を担う重化学工業誘致のため堺港を埋立て、一大臨海工業地帯の造成に着手し一部埋立地ではすでに操業を開始している会社もある。

5 地盤沈下対策

大阪市内では最近、地下水汲み上げによる地盤沈下が甚しく、1950年のジーン台風のときには、この地盤沈下のために高潮による被害は、まことに甚大なるものがあつた。このため府では大阪市と共同で全長77マイルに及ぶ大防潮堤を完成した。

6 住宅

戦災および人口急増により生じた深刻な住宅不足に対処するため大阪府は公営住宅の建設に努め、その一環として千里丘の東洋一のマンモセ団地、所謂ベッドタウンを建設中である。

7 成人病対策

最近府民の間で著しく増加しているガン・高血圧・心臓疾患などの成人病に対処するため全国にさきがけて最高の技術と最新の設備を誇る成人病センターを設立した。

II 歓迎午餐会における知事あいさつの要旨

知事は、一行の来訪と午餐会出席を謝し、昨春の訪米の印象と感想を語った後、日米両国の知事が一堂に会して自由に意見を交換することは単に両国の地方自治の諸問題の解決とその発

展にきわめて有益であるばかりでなく、米国各州と日本の都道府県との間の文化交流、貿易を促進し、ひいては日米両国の友好親善と相互理解の増進と平和と民主主義の発展に寄与するところまことに大なるものがあると確信する旨のあいさつを行なった。

兵庫県知事歓迎のことば

(於兵庫県庁)

4月17日

このたび本県にお越し頂きましたことを非常に光榮に存じます。県民を代表して皆さんに心からの歓迎のごあいさつを申し上げます。

この建物はもともと女学校であつたものを庁舎に転用して今日に至つたもので、ご覧のと通りの姿でありますので、新庁舎建設を計画中で、ほぼその模型も出来上り、今は着工を待つばかりとなつております。皆さんを新庁舎にお迎えできなかつたことを残念に存じます。

兵庫県の人口は401万、その面積は8332平方キロメートルで、北は日本海に、南は瀬戸内海に面し、雪おう冬の山々、温暖な瀬戸内、天然の沢野ありという多彩なわたしたち郷土の自然は産業文化の上にも反映し、豊かなバラエティに富む生産機構と充実した内容をもつております。

わが国での貿易の拠点である神戸港を中心に、東西にひろがる工業地帯は鉄鋼造船工業を中核として重化学工業が分布し、その背後の平野には農業地帯がひらけ、そしてまた漁場にも恵まれた県であります。

県政のあらましなり産業経済文化の詳細なデータにつきましては配布致しましたパンフレット、資料で御了承願いたいと存じます。

わたしも1957年国務省の御招待で米国各地を2カ月に亘

つて視察致しましたが、顧みてまことに貴重な体験でありました。御一行のこの度の御旅行において、国情文化を異にする中に、わたし達の郷土づくりの実情を御覧頂き、わが国の県政の姿の一端なりとも御理解願えればまことに幸甚に存じます。

この後正午からこの近くの相樂園で御一行御歓迎の園遊会を催したいと存じます。皆さんの旅情をいささかもお慰めすることが出来れば、わたしのこよなき喜びとする所であります。

ありがとうございました。

米国州知事訪日視察団に対する広島県知事 職務代理者県政概要説明

(於 広島県庁、4月17日)

本日遠路わざわざ米国州知事さんお揃いで本県をおたずねいただきまして誠に有難く心から歓迎の意を表します。

さぞかし長途のご視察でお疲れのことと存じます。

特に本県が貴国に対して親しさをおぼえますことは、指折りの移民県であるということでもあります。その数は今日約 88,000 人の多くに達しており、このうち約 64,500 人の大部分が貴国においてそれぞれその所を得て恵まれた生活を営んでおり大変喜ばしく存じております。

本県県政の概要につきましてはお手許にお届けしておりますので、これによつて大体ご理解願えると思っておりますので、多くは省略させていただき、特に幾つかの点について簡単にご説明申しあげます。

およそ外国人にとって、本県の印象は、原爆の洗礼をうけた広島と、赤い鳥居の宮島だと思われれます。ところが本県は、この図のように、県内の大部分は山におおわれ、耕地は少く広島市附近と福山地方を除いては、殆ど平野らしいものはございません。このような地理的環境が先に申し述べた移民県として、国外にその生活を求めることとなる原因にもなっております。

次に戦前陸海軍の基地が多くあつた本県は、軍需産業が中心でありましただけに、戦争の痛手は他の府県に比べて最も大きくございました。このため戦後は戦災地の復興と県民生活の建

直し、わけても食糧物資の調達と、軍需産業の壊滅に伴う離職者対策に懸命の努力を必要といたしました。

そこで長期生産県構想計画を樹立し「消費県から生産県へ」のスローガンのもとに県民あげて生産に復興に努力を傾けてきました。県が樹てた生産県構想計画とは、一口に申しあげて、県民が生産を上げるための基礎条件を整備し、生産活動を高め、県民経済を伸ばしていく計画といえます。この県民の努力によつて最近 10 カ年の間において、県民 1 人当りの所得は、最初の全国水準の 78% の 31,797 円から、123,922 円に上昇し、全国水準を僅かながら上廻るほどになりました。

次にこの地図にも示しておりますように、臨海地一帯、呉、広島、大竹間、及び三原、尾道、福山間は戦後大企業の誘致によつて一大臨海工業地帯に変ぼうしつつあります。また、これに附随して、これらの大企業につながるいろいろの企業や本県の古くからの特産である木工品、やすり、縫針、綿織物などの企業が盛んになつてきております。

一方農業構造も次第に改革を見つつありまして、例えば台地開発、営農も米作主体から果樹牧畜をとり入れた、多角経営に移りかわるなど、わけても、みかん、和牛の生産は全国にその名を知られるに至つております。

また、海のカキは、本県の名産物であります。その生産量は全国一を誇つております。また後ほど召し上つていただきたいと思いますが、日本酒も立派なものが造られ、あるいは昨日お飲みになつたと思われる芦屋の灘の生酒以上のものと自負い

たしております。

次に現在臨海工業地帯の造成事業として着手しておりますものに広島港と福山沖の埋立て工事があります。この中でも、福山沖の埋立ては、面積にして 726 ヘクタール（220 万坪）でありまして、1965 年には我が国大鉄鋼メーカーの 1 つである日本鋼管福山製鉄所がここに建設され、1970 年には年間粗鋼 600 万トンを生産する大工場となり、これに関連する産業の発展によつて、この地帯に新に 20 万の人口が集中する予定であります。

また、この広島を流れている太田川の水を呉工業地帯とその周辺の島に送水（1 日送水量 30 万トン）する大導水路の建設を計画し本年度から 4 ヶ年計画で事業を進める運びになっております。（総工費 37 億、延長 32Km）

この赤線は建設を予定し調査中の中国縦貫自動車道路であります。この建設によつて中国山地一帯の開発は勿論であります。特に京阪神地帯との産業経済の交流は一層盛んになるものと思ひます。

次の青線は瀬戸内海の島々 8 つを 10 の橋で結び、中国と四国を連絡し、更にこれを九州に伸ばしてこの間にある島嶼の開発を進める計画でありますと共に、一大観光地を瀬戸内海に実現すべく計画しております。

皆さん方が再び日本にご訪問いただきますときは、瀬戸内海を自動車で観光いただけるよう実現に努めたいと存じております。

最後にこの機会をおかりして皆さん方をお願いいたしたいと思
います。これは 220 万県民の強い悲願であります。ご承知の通り
1945 年 8 月 6 日この広島は世界ではじめて原爆の先礼をうけ、
県民はすべて、この苦しみを再びうけたくない、また他の人にも
うけてもらいたくない気持で一ばいであります。

私事にわたって恐縮でございますが、申しあげておる私も兄
一人と、妻の両親とをこの原爆によつて失つております。

広島は街は新しくなりましたが、今日もなお、原爆はたくさん
の人たちに影響を及ぼし、当時全く無傷であつた人も次々と
斃れ死んでいくのであります。

このような戦争が再び地球上に起らないように、人類を破滅
に導く核兵器の使用が絶対に禁止されるように、広島県民を代
表して強くお願いし私の説明を終わります。

広島に於ける記者会見

期日 4月17日 17.00時

場所 広島県庁

出席者

米国側	ローレンス	}	知事
	マクニコルス		
	ソーヤー		
	カブラット		
	ドブレンチャク		国務省
	クリフイールド	}	事務局
	マーフィー		

新聞側

エー・ピー 一名 ユー・ピー・アイ 一名

日本新聞記者 六名

先ずネバダ州ソーヤー知事が訪日知事一行を代表して次のメッセージを述べた。

ネバダ州知事グラント・ソーヤー

日本・広島

1962年4月17日

日本滞在中、大気圏内及び地下核実験の問題がくりかえし取上げられました。多くの人びとは、わがネバダ州が米国における地下核実験の場所であつたことを知っております。それ故、私はこの問題について各地で質問を受けました。この心配は極めて理解できるところであり、論理的に説明に価するものであります。

私はこれから述べようとする事について、米国政府の代弁をするつもりはなく、又米国州知事の代弁をするつもりもありません。但しここにおられる知事各位は私の意見に同意されることと思ひます。

過去17年間3代の大統領の下で、米国は各国の兵器庫から原子兵器を追放することに努力してきました。1958年われわれは、ソ連と同様に、核実験一時中止に同意し、この中止期間にいずれの側も核実験を行なわず、東側も西側も具体的な管理計画を探求することとなりました。昨年9月、ソ連は自らの言明を無視し、地上の住民全体の福祉をかえりみず、実験停止を遂に破棄して2ヵ月にわたり40回以上の実験を行ないました。

この決定的な時点において、米国及び自由陣営諸国は重大決定に直面しました。その結果は全人類の運命を決定するほどのものです。ソ連は自らの立場をまぎれようもなく明瞭に示しま

した。即ち、世界の支配とその諸国民の従属であります。自由は決して容易には獲得され得ません。それを放棄するには何の努力も要しません。単なる無為を以て足ります。それを維持するためには精神、肉体及び人格の力が必要であります。阻止されない核軍備競争の恐るべき結果にかんがみて、自由諸国の指導者及び国民は、実験中止破棄の時点において、自由な社会を維持するために必要な犠牲を又も払う注意を固めねばなりません。一方においては行動を怠ることは、不可避免的に又疑問の余地なく、個人の自由を自発的に放棄すること、全体主義の全面的、絶対的な勝利を意味しました。他方においては、実験を更に行なう場合は危険と犠牲とがともないました。それゆえ、合衆国大統領は昨年 11 月、大気圏内の実験の再開準備が指命されたことを発表しました。

この間において、米国は実験継続及び原子力の軍事目的利用を禁止する、公正かつ実施可能な協定に達するあらゆる手段の探求を続けてきました。ソ連はジュネーブでなされた提案——即ち核分裂物質及び核兵器の製造、並びにそれらの他国への譲渡を停止すること。それらを平和的な目的のために転用すること。弾頭及び送達手段の破棄。奇襲及び偶発的攻撃の危険を阻止すること。宇宙空間を平和利用のために留保しておくこと。及び一切の軍隊を戦争の脅威と思想を永久にとり除くようなやりかたで漸進的に減少することを内容とする提案——を拒否してきました。ソ連は又、空中、宇宙空間、地下又は水面下を問わずあらゆる状況における一切の核兵器の実験を永久に停止する包括

的な条約の提案を拒否しました。

日本及び米国の人びとは、平和に対する熱烈な希求をともに抱いております。彼等は、自由な選択の権利をふみにじる政府の命令（国内、国外を問わず）を受けないという決意を共に抱いております。平和は、降伏の旗を掲げることによつて急速に、容易に獲得することができます。自由は力によつて守らなければなりません。それ故われわれの目標は、そのいずれをも犠牲にすることなく、両者を獲得することにあります。われわれの第一の目的は、人類のために安全にされた世界において、力を追求することではなく、力を管理することになければなりません。したがつて、もしわれわれの精神が国家の奴隷とならず、われわれの魂が神から離れるべきでないならば、われわれは強力であり、団結していなければなりません。

日本は中立であるべきだということが示唆されております。私はあなた方に申し上げますが、もしも中立の道を自由世界の諸大国がえらんだとすれば、それは市民の諸権利の完全なみじめな喪失に等しいでありましょう。しかしてそれは、いかなる理論を以てしても弁解することのできないほどの恥辱に汚された屈服であります。もしもこの時代の歴史が自由な人びとの手で書かれるとすれば、歴史上におけるこの重大な時点が次のように描かれるでしょう。即ち自由な人びとはよろこんで自由に伴う責任を引受けた。彼等は平和を維持し、いたる所の人びとの個人的諸権利の尊厳を保持するため勇敢にたたかつたと。

次に新聞記者との質問応答が行われた

日本新聞記者の質問

1. 広島訪問の目的は何か。

答 ローレンス知事

他県を訪問したのと目的は変わらない。

国民外交を維持する事や貿易を盛にする一助ともなろう。

質問 2. 広島の影響如何

答 ローレンス知事

美しい町並で道路も立派だしよく復興していると感じた。

質問 3. 原水爆実験について

ネバダ州に反対運動はないか。

答 ソーヤ知事

ネバダでは 7,000 人の者がその実験にたずさわっている。併しその実験は多く平和目的のために行われていて、軍事目的を持つものは極めて制限されている。

ネバダ州の人々は此の実験は平和利用（道路、ダム建設等）の為であるという事で賛成している。それに地下実験なので殆んど住民が気づかない。

以 上

米 国 州 知 事 記 者 会 見 概 要

(於 帝 国 ホ テ ル ク ラ ブ ル ー ム)

4 月 19 日

出 席 知 事

コロラド州知事	ス テ ー ヴ ・ マ ク ニ コ ル ズ
サウスダコタ州知事	ア ー チ ・ ガ ブ ラ ッ ト
ネバダ州知事	グ ラ ン ト ・ ソ ー ヤ ー

開 会 2 時 30 分

質 問 (N H K)

日 米 知 事 合 同 会 議 の 目 的 は 何 か 。

ソ ー ヤ ー 知 事

目的は双方の知事が当面している共通の問題について、たがいに意見の交換を行うということ、共通の問題があれば解決したい、相互の理解を深めるということ、また、トツブレベルの人達だけでなく、できるだけ多くの階層の人達と会う。例えば農業に従事する人達、また、いままでは非常に少数の人達の交換が両国の間において行なわれているが、これは将来はあらゆる階層の人々、あらゆる会を代表する幾千もの人達の交換にまで発展させたいとのぞんでいる。

質 問 (共 同 通 信 社)

各 地 を 歩 か れ た 印 象 と 、 地 方 行 政 に つ い て 知 事 が 感 じ ら れ た 点 。

マ ク ニ コ ル ズ 知 事

第一に日本各地を歩いて非常に日本の人達は親切で友情にあつたことだ。第二に日本人の勤勉さにうたれた。どこへいっても非常に勤勉に働いているのを発見した。例えば新しいビルディングはぞくぞく建てられるし、新しいハイウェイが出来たり、新しい工場が各地に生まれていたり、日本の農家の人達も、かぎられた耕地の中で立派な仕事をしているのに印象を深くした。また総体的にみて、日本の地方行政面は非常にうまくいつていると思う。

ソーヤー知事

私の気がついた点は現在アメリカでも問題になっているハイウェイ建設である。

それには、500億ドルぐらいの予算をかけているところもある。しかし国が興隆するためには、道路と通信の発達が必要である。特に日本のような工業が発達し、文化も発達しているところでは一層だ。特に東京においてはドライブすることが非常に困難のようだと観察した。これを解決するには、ハイウェイを作る時に将来の交通量の増大を十分に考慮に入れて、それにさしつかえのないように幅を予定して計画を立てることが必要だ。この点政府も地方も、もうすこし考えたらよいと思う。

質問（スターズ・アンド・ストライプス）

知事の日本滞在中、日本に対するアメリカ人の誤解というものを本国に帰って訂正することが必要だということは

なかつたか。

ソーヤー知事

印象というものは、その国民自体ではどうしてもコントロールできないような種々の状況によつて随分変つた印象を与えたものだ。例えば、ネバダというところは非常に多彩であつて、ラスベカスがあるため経済的に正確にはネバダを理解されていないことがいえる。

日米交渉 20 年をふりかえつてみても、その間戦争があつた。その紛争の間には、相手国の敵国民に対する印象もゆがんだものになつていくのは当然だ。

日本において、キヤピタリズムという言葉が流行していて、日本で使う意味はアメリカの資本主義は悪いものだという誤解をもつにいたつている。このキヤピタリズムにはいいも悪いもない。同様に米国においても、ある人々はいまだに過去の戦争を通じて、日本は非常にミリタリスチック（軍国主義的）であるという印象をもつている。

しかし、我々は各地を視察して、日本は決して軍国主義的でない、これは全くの誤解であつて、日本人は平和を愛する国民であるということが理解できた。これは人物交流の恩恵だと思う。日本の知事が米国を訪問された折にも、日本人の米国に対する誤解もといてもらえると思う。

マクニコルズ知事

私の感じた点は日本における言論の自由である。新聞、ラジオ、テレビ等が全く自由に報道しているということだ。

米国人を代表して、私は米国人は自由企業というものに信念をもっている。人の尊厳というものについて信念をもっている。

私は2年前にソ連を訪問した。その時見て確信していえることは、日本人の皆様の方がソ連の人達より、はるかに高い生活水準をもっている。全くソ連に比較にならない程日本人は自由をもっている。これは誠に素晴らしいことだと思う。

ソ連では政府が新聞、ラジオなどの報道機関をぎゅうじつている。政府が国民に知らせたくないことは報道していない。ひとたびどこの国の政府でも、報道機関に圧力を加えると、その国の自由は失なわれると思う。

もう一つ日米間の貿易の促進ということである。

私は各地を歩いて、これも盛んに促進されているのを見て取った。

例えば、我州では優秀な小麦を生産している。

この小麦の最も大きな市場は日本であるが、日本の需要は来年は今年よりはるかに大きくなると聞いている。この需要に対して、私達の州でも参加できるということにでもなれば幸いだ。同様に日本の優秀な技術や、商品が米国でも大いに用途を発見し、歓迎されるようになる。その結果により両国の貿易が拡大促進されることを望んでやみません。

質問（幹事）

日米間の文化交流について日本の知事との話しはどうだつ

たか。

カブラッド知事

留学者の交換ということは勿論できるし、将来もそのよう努力するつもりだ。だがそれ以外の交換を考えている。それは、

私の州では水が不足している。水は出るけれどあまりその質はよくないという状況だ。この水不足というのは西部諸州の共通の問題である。

又日本でもこれが大きな問題になっているときいている。特に東京はひどいときいている。

私の州のウェブスターの町では、特に水が悪い地方だ。ここで政府と協力して日本の旭化学（アサヒ・ケミカル）という会社と契約を結んで技術者がきて悪い水を良い水に変える工場を建設中である。

これらを通じて日米間の理解は深まるだろうと思うし、また、アイデアの交換ということもあると思う。これは日本の技術者の仕事振りをみて米国の技術者が非常に参考になったといっていることからみても明らかだ。これにならつて、日本と米国、世界が一致協力して共通の問題の解決に勤しむならば、それは非常に大きな成果をおさめることが出来ると思う。

日米協会主催昼食会に於ける小松副会長の挨拶

(於 東京会館 4月19日)

日米協会の会員として、米国の各州知事各位をお迎えすることは非常な名誉であり、特典であります。われわれの会長・吉田茂氏（日本の長老政治家）は私に対し、この特別の機会に氏に代り歓迎申し上げるよう指示されました。氏は自ら出席して御挨拶申し上げることを希望しておりましたが、遺憾にも大磯の私邸から離れることができませんでした。氏の心から希望されることは、日本滞在が楽しく又実りあるものであること、及び遠くない将来において日本を訪問され、より広範囲な観察と日本の国民とのより広い接触を持たれるようにということであり、ます。

われわれは、アメリカのお客様方が、日本滞在の最後の時刻を日米協会にお与え下さったことを特に有難く、幸せに思っております。そしてこの時に、このようなお客様方を御紹介致すことは私の特典であります。（民主的なアルファベット順に）

サウス・ダコタ州から来たアーチャー・カブラット氏

コロラド州から来た ステイブ・マクニコルズ氏

ネバダ州から来た グラント・ソーヤー氏

日米知事会議出席のため来日された州知事さんは更に5人おられました。われわれはその方がたもこの場にいらつしやることを希望致しましたが、公務の必要のために帰国を早めることを余儀なくされました。その方がたのお名前は、

カンサス州から来られた ジョン・アンダーソン知事
ウエスト・バージニア州から来られた ウィリアム・ダブリュー・バロン知事
フロリダ州から来られた ファリス・ブライアント知事
デラウェア州から来られた エルバート・エヌ・カーベル知事
ペンシルベニア州から来られた デイビット・エル・ローレンス知事

このときに、われわれは日本の各県知事各位がかくも多数お出で下さつてわれわれと共にアメリカの友人に温い気持をさしのべられるという事実を誇りに感じております。私に許された時間が限られていますので、その方がたのお名前を（アルファベット順に）お読みするだけでお許し下さい。

東京都知事 東龍太郎氏
山口県知事 橋本正之氏
大阪府知事 左藤義詮氏
千葉県知事 柴田等氏
神奈川県知事 内山岩太郎氏
北海道知事町村氏代理 沢田成爾氏

このときにあたり、自治大臣安井謙閣下を御紹介申し上げることは私の大いなる榮譽であります。

（安井謙閣下の挨拶）

米国より来訪された米国知事団を代表して、ネバダ州知事グラント・ソーヤー氏が「日本の印象」についてお話されます。

（ソーヤー知事のあいさつ）

東知事はこの際、ニューヨークより帰来したばかりの交換学生一名を御紹介していただくこととなりました。皆様すでに御存知

の通り、ニューヨークと東京との間で毎年学生を交換する協定が取結ばれております。

東知事殿どうぞニューヨークからの交換学生を御紹介願います。

(東知事がニューヨークからの交換学生を紹介する)

本日もう1人の特別のお客様をお迎えしております。それは恵まれない子供たちのための世界一周旅行のためただいまロサンゼルスから到着されたフランク・シナトラ氏であります。氏は音楽会を続けて開く御予定であり、全収益はそれぞれの国の慈善事業のために捧げられることになっております。氏に対して心からの賞賛の意を表したいと存じます。

シナトラ殿、われわれの心からの歓迎、最善を願う気持ちがあなたに捧げられております。

われわれの主賓であられるアメリカの州知事各位は午後1時45分に他の重要な会合の約束をお持ちであり、私はその時間的制約に従うというお誓いをしております。しかしながら、私の首にかけても、この機会に日米両国民の友情と相互協力の精神を推進する上で、知事各位が果された量ることのできぬ貢献に対し、私の深い感謝と敬意とを申し述べないわけに参りません。

会合は只今散会いたしました。どうもありがとうございました。

日米協会主催昼食会における ネバダ州ソーヤー知事の挨拶

(於 東京会館 4月19日)

私は、旅行中に各知事が述べた一般的な印象のいくつかを皆様にお伝えしたいと思います。ついでながら、8名の知事のうち誰ひとりとして――いかに平凡で俗離れしているかこれでおわかりでしょうが――かつて日本に来たことのあるものはいません。

私どもの最初の印象――日本を旅行するにつれて、それは大きな印象となりました――は、お国の非常な美しさであります。私どもは昨日、とりわけ美しい広島で旅程を終了致しました。瀬戸内海やその島々は全く華麗であります。富士山は、その美しさにおいてこの世のものとは思われないほどです。これまでわれわれはそれらについて写真で見たり、幾度も話を聞いてきていますが、人は実際にその眼で見るまではそれらを真に理解し、知ることは決してできません。したがって私どもは山や水、至るところにおける日本の国土の美しさに非常な感銘を受けました。

第二の印象は、これだと思えます。すなわち、日本は非常な活力とエネルギーをもつた約1億の人びとで充満しています。この国の人びとは歩かない。彼らは走っています。あらゆることが至る所で起きています。夜、人びとは道路上で働いています。ダムは次々に建設されて行きます。新しい河川が作られています。そして人びとは非常に活気に満ち、精力的であります。この活力は、日本が戦後示した劇的な進歩、とくに1億の人びとを相対的に小

さい地域におしこめるという問題に対処する工夫の中に示されています。

一例を挙げれば、ネバダ州は 11 万平方マイルであります。これは日本全体に匹敵する大きさです。ネバダ州には 32 万 5 千人の住民がおり、これは 1 平方マイルにつき 3 人です。あなた方は、ネバダ州で 1 平方マイル当り 1000 人をつめこむことを想像できるでしょうか。これが、今日日本が当面している問題に外なりません。

したがって、私どもは、日本では何らかの目的に利用されていない土地は 1 平方インチもない事実強く心を打たれました。広島では、新しい土地が海の中に造り出されつつあります。彼等は場所を求めて新しい土地を造成しているのです。昨日聞いたところによれば、広島の大きな部分は数年前には存在していなかったとのことです。彼らは現実に土地を創り出したのであります。

これらの密集した住民に役務を供給することは大変な仕事に違いありません。——道路、ダム、学校等。

もちろん私どもは世界市場で競争している日本の市場に非常な興味を感じました。以下は私どもが至る所で受けた質問であります。米国は関税についてどう考えているか？

貿易の問題についてアメリカは日本をどう取扱うと思うか？ 日本はなお特惠国待遇を受け続けるであろうか？ 欧州共同市場についてはどうか？ EEC は日本の利益にとって有害であろうか？ これらの質問は、私どもの多くのものにとって十分に答えるだけの知識をもちあわせない問題でありましたが、このことは、日本

を訪問することによつて知り得たことであり、以前には知らなかつたことであります。

私どもは、このすばらしい国の古い文化を維持すると同時に新しい社会的経済的概念に適応するということは、ほとんど精神分裂症を引起すということを知りました。

私どもは、このことを、とくに京都や奈良のように、他の地に比べ偉大な文化がより顕著で、よりめざましく観察できる場所で見出します。進歩はなされねばならず、しかも同時にこの国の素質と力とがその偉大な文化の中にあり、その両方を、どちらをも犠牲にすることなく行なおうというのでありますから、私どもは人びととの話合いを通じて、これは全く大きな問題であろうと感じた次第であります。

私どもは又、アメリカでは不幸にして十分見ることのできない他のいろいろな細かい事柄に気がつきました。子供たちに対する親とくに父親の非常な献身ぶりは、私どもの多くのものが述べているところであります。今日、アメリカの父親たちは子供たちといくらかの時間を共にすごしますが、こちらで拝見したように、父親及び母親の子供たちに対する非常に深い献身と深切、子供たちのすばらしい行儀作法というものをアメリカで見ることはできません。

マクニコルズ知事はある学校を訪問致しました。――私はその時一緒におりませんでしたが生徒全員が集り、数百人のこれら生徒たちが非常に秩序正しく又行儀がよく、知事が話すのを非常な敬意を以て聞いていたそうです。このようなことは、ア

アメリカではほとんど考えられないことでもあります。残念なことではありますが。

あらゆるところですべての人びと——われわれが何ものであるかを知っていると否とを問わず、——から示された非常な親しみある態度は私どもに深い感銘を与えました。私は最後の 10 日間、多数のアメリカ観光客と話し合いましたが、彼らのすべての者が同じことを述べておりました。

私どもが訪問した多くの場所で、子供たちが道路の両側に並んで旗を振ってくれました。すべての地位の公務員、市長及び知事各位の暖い理解に満ちた態度、民家を訪問した際の人びとの非常な友情、これは全く誠実さそのものから出たものだと思います。

一昨日の晩、私どもは日本の方がたの家に 1 人ずつ別れて泊りました。他の日には、日本の家庭でしばらく時を過ごし、その人びとと話し合いました。

これまで申し述べたことがらの外に、おそらく他の何ものにもまして、私どもは、すべての階層の日本人が共に抱いている平和に対する熱烈な願望を知ることができました。私どもはそれを、とくに、今日「平和都市」と呼ばれている広島で強く感じました。

私は和田さんの家でしばらく愉快的な午後を過しました。私は 19 才になるその家の息子及び隣家の少女と話し合いました。私たちはあらゆることがらについて話しました。その青年は極めて率直でした。彼はネバダにおける核実験について私に質問しました。彼は日本に駐留している軍隊について話しました。彼は又、日本の中立の可能性を論じました。私は彼に向って、彼が私に対して

なしたのと同じ数の質問を致しました。最後に少女がこう言いました。「あなた方アメリカ人は日本人に何を望みますか？あなた方アメリカ人は私たちに何をすることを希望されますか？」

私は残念ながら彼女に余りよいお答えができませんでした。私は彼女に対し、われわれはアメリカ人がすることを望まないことを日本に要求する資格はないこと。しかし日本も、日本人がやりたがらないことをわれわれに要求することは無理であるということを知らせようと努めました。

この青年及び少女との会話について考え、又平和、核実験及び他の知事達全員がぶつかっているすべての質問事項について論議した結果、私どもは声明文を準備し、それを広島で発表致しました。その中で、私どもはこれらの質問のいくつかについて、われわれの意見を提示しました。私は、その一部をここで読み上げたいと思います。おそらくこれは、その少女に対し私が示すことのできる最良のお答えであります。

「自由は決して容易に獲得されたことはありません。それは力によつて達成され、維持されねばなりません。自由はそれを放棄するために何の努力も要しません。単なる無為を以て足ります。それを維持するためには、精神、肉体及び性格の力が必要であります。」

さて声明文の次の部分は核実験の問題にふれております。

「無制限な核兵器競争の恐るべき結果を考慮して、自由諸国の指導者と国民は、ソ連による核実験停止破棄の時点において、自由世界を維持するために必要な犠牲を再び払うかどうかを決めな

ければなりませんでした。一方では、行動をとらないということは、不可避免的に、又疑いもなく個人の自由の概念の自発的な放棄、全体主義の全面的絶対的勝利を意味しました。他方では、実験を継続することには危険と犠牲が伴いました。自由世界の安全に必要なこれらの又は他の諸措置を米国政府は今後ともとり続けると信じます。

日米両国民は、平和に対する熱烈な願望を共に抱いております。彼らは、国内国外をとわず、自由選択の権利を破壊するような政府の指図を受けない決意を同様に持つております。平和は単に降伏の旗をあげることによつて、急速に、容易に達することができます。しかし、自由は力によつて守らなければなりません。したがつて、われわれの目的は、いずれをも犠牲にすることなく、両者を維持することでなければなりません。

われわれ両国は、したがつて、もし精神が国家の奴隷となるべきでなく、魂が肉体から絶ち切らるべきでないならば、強力であり、又団結しなければなりません。共同の目的による提携は、全面的な提携でなければなりません。利益と同様に、負担をも完全に分かち合わねばなりません。

もしこの時代の歴史が自由な人びとの手で書かれるとすれば、この歴史上の決定的時点が次のように記録されるであります。即ち、自由な人びとは、自由に伴う責任を喜んで引受けた。又彼らは、それが可能な時には平和を維持し、しかしいかなる場合にもすべての場所における人間の個人的諸権利の尊厳を（可能なかぎり交渉によつて、必要とあれば力によつて）維持する勇気を持つて

いたと。」

恐らくこれが、かの少女に与え得る最良のお答えかと存じます。アメリカは日本に何を望むか？ 日本はアメリカに何を望むか？ われわれのいずれの側も、われわれが喜んで与え得る以上のものを相手に要求することはできません。もしもそれが協力関係であるならば、われわれは協力関係の果実のみならず、その責任をも共にしなくてはなりません。

私どもの旅行の目的はすでに十分に説明されております。私どもの心の中にある問題は次の事柄であります。このような旅行は真にやるだけの価値があるか？ われわれは日本において何らかの役に立ったか？ われわれは日本国民に対し、われわれの考えをハッキリと説明したであろうか。？ われわれは、日本人の考えを理解するだけ十分に賢明であつただろうか？ もしわれわれがその通りであつたとすれば、われわれは相当のことをなしとげたわけでありませぬ。もしそうでなかつたとすれば、われわれは何事をも達成しなかつたことになりませぬ。われわれが納税者達の負担において旅行に出かけている時、本国では反対党が真実を述べているのでありませぬ。

私どもはこんどの旅行について相当の検討を加えました。私どもは、アメリカの希望と抱負と夢を目的とを、日本の方がたに説明できたことを期待しております。又私どもは、日本の人びとの抱負と夢とを理解するに十分賢明であつて、それらを帰国した際にアメリカの人びとに伝達できることを期待しております。

あらゆるレベルにおけるこの種の旅行は、もし適正に取扱われ、誠実な目的をもつた人びとによつて行なわれるならば、絶対必要

なものであると思われます。われわれは、ずっと前に金（カネ）だけでは仕事ができないことを知っておくべきでした。理解ということは、心と心との交りということではなればなりません。しかも国民的水準のものでなければなりません。そして共同の提携関係は金をもつて取りきめることはできません。それは人と人との間の話し合いと通信とを通じてなされねばなりません。

それゆえ、私は日本へ参りまして、非常に多くのアメリカ人が日本で正にこのことを行なっていることを知り喜びにたえません。私の州の住民であるフランク・シナトラ氏が本日ここで氏御自身の時間と費用をかけて正に同じことをしておられます。

さて私は、協力関係は対等のものでなければならぬと申しました。私どもは、より多くの日本の方がたがアメリカへ来られることを希望しております。したがって私どもは、日本の知事の方がたが来月わが国へ来られることを喜んでおります。私どもはその方がたが米国の各州を訪問される時を切に待ち望んでおります。日本知事団の日程は、私どものそれと同様、あるいは、よりつまつたものとなりましょう。というのは私どもは、日本知事団が米国に滞在する短い期間中、できればあらゆるものを御覧になることを望んでいるからであります。

私どもは相当の仕事としての旅行を致しました。しかし、それとともに、非常にすばらしい経験をしました。私の考えでは、今度の旅行は私の生涯でもっともよい旅行でありました。私どもは、来月そのお返しをすることができることを期待しております。

本日あなた方とお目にかかれましたことは非常な喜びでありま

す。私は、長期間日本におられるアメリカ人各位とお話し合う時間を今少し持つことができればよいのにとおもいます。なぜなら私どもは切に学びたいと思っており、又帰国した際にできるだけ多くのことを知っているとの確信を持ちたいからであります。私どもは、ここでいくらかお役に立つことをする機会を持っており、できることならばそうしたいと望んでおります。